

平成28年度
入学者選抜要項

(大 綱)



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

平成27年6月

目 次

1. アドミッション・ポリシー	1
2. 入学者選抜実施日程	15
3. 募 集 人 員	17
4. 入学者選抜方法等	18
(1) 一 般 入 試	20
(2) アドミッション・オフィス入試	36
(3) 推 薦 入 試	47
(4) 帰 国 子 女 入 試	67
(5) 社 会 人 入 試	70
(6) 外国人留学生入試	72
5. 障害等のある入学志願者との事前相談	74
6. 学生宿舎への入居（多文化社会学部へ入学する者）	74
7. 募集要項の発表時期及び請求方法	75
8. 入試情報の提供	77
(1) 個人成績の提供	77
(2) 正解・解答例等の提供	77
(3) 採点・評価基準の提供	
〔一般入試〕	78
〔推薦入試〕	81
〔社会人入試〕	83
〔外国人留学生入試〕	84
(4) 可否判定基準の提供	
〔一般入試〕	86
〔推薦入試〕	88
〔社会人入試〕	89
〔外国人留学生入試〕	90
9. 平成 27 年度長崎大学入学者選抜状況	91
10. 個別の入学資格審査	100
11. 平成 29 年度長崎大学入学者選抜の変更点について（予告）	102

1. アドミッション・ポリシー

【全学共通のアドミッション・ポリシー】

長崎は、世界に開かれた日本の窓口として多文化交流の先駆的役割を果たしてきた国際都市であり、被ばく体験をもとに世界の恒久平和を宣言した平和都市です。この地に立地する大学として、長崎大学は歴史に根づく融合と調和、創意工夫と平和希求の精神を継承しつつ、教育研究の高度化と個性化を図っています。本学は、新たな知の創造と社会の調和的発展に貢献できる心豊かな人材の育成によって、世界に向けた情報発信拠点であり続けることを目標としています。

このため、長崎大学は次のような学生を広く求めます。

1. 先人の知恵を真摯に学び、新たな知の創造に積極的に取り組もうとする人
2. 広い視野と豊かな人間性をもって、国際社会の調和的発展に貢献しようとする人
3. 高い志と専門知識をもって、地域社会の発展に貢献しようとする人

【多文化社会学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

多文化社会学部は、グローバル化に伴い複数の文化の共生と協働が求められる現代世界において国際的に活躍できる人文社会系グローバル人材を育成することを教育理念とし、具体的には、①高度の英語力を有し、グローバル化する世界において、英語でコミュニケーションやプレゼンテーションができる、②グローバル化する世界における多文化状況に関する知識を有し、文化的多様性の意義を理解できる、③グローバル化する世界の中で、人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動することができる、人材の育成を教育目標として掲げています。

2. 求める学生像

- (1) 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している者
- (2) 世界の多文化状況や異文化交流に興味、関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲のある者
- (3) 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる素養をもつ者
- (4) 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる素養をもつ者

3. 入学者選抜の基本方針

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

4. 選抜方法

【一般入試】

- (1) 前期日程（グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース）
 - ・英語を主とする外国語運用能力、世界の多文化状況を批判的・論理的に考えた上で表現するライティング能力に焦点をあてた評価・選抜を行います。
 - ・そのため、前期日程では、大学入試センター試験、個別学力検査（英語、批判的・論理的思考力テスト）を課します。
 - ・なお、大学入試センターの外国語の評価には外国語（英語）検定試験の結果を活用します。
- (2) 前期日程（オランダ特別コース）
 - ・英語を主とする外国語運用能力、世界の多文化状況を批判的・論理的に考えた上で表現するライティング能力、特にオランダ・ヨーロッパへの興味・関心と学習意欲に焦点をあてた評価・選抜を行います。
 - ・そのため、前期日程では、大学入試センター試験、個別学力検査（英語、批判的・論理的思考力テスト）、面接を課します。
 - ・なお、大学入試センターの外国語の評価には外国語（英語）検定試験の結果を活用します。

(3) 後期日程（グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース）

- ・世界の多文化状況を批判的・論理的に考えた上で文章として表現する文章構成力，多文化状況への興味・関心と学習意欲に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため，後期日程では，大学入試センター試験，個別学力検査等（小論文），面接を課します。
- ・なお，大学入試センターの外国語の評価には外国語（英語）検定試験の結果を活用します。

【アドミッション・オフィス入試(AO入試I)】

(1) AO入試I（グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース）

- ・論理的に考えた上で表現するコミュニケーション能力・自己表現力，多文化状況への興味・関心と学習意欲に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため，AO入試では，高等学校からの調査書・自己推薦書を活用し，論理的思考力を評価できる面接を中心とした考査を行います。
- ・なお，外国語（英語）検定試験の結果を出願要件として活用します。

(2) AO入試I（オランダ特別コース）

- ・論理的に考えた上で表現するコミュニケーション能力・自己表現力，特にオランダ-ヨーロッパへの興味・関心と学習意欲に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため，AO入試では，高等学校からの調査書・自己推薦書を活用し，論理的思考力を評価できる面接を中心とした考査を行います。
- ・なお，外国語（英語）検定試験の結果を出願要件として活用します。

【帰国子女入試】

- ・コミュニケーション能力・自己表現力，多文化状況への興味・関心と学習意欲に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため，帰国子女入試では，面接を中心とした考査を行います。
- ・なお，外国語（英語）検定試験の結果を出願要件として活用します。

【外国人留学生入試】

- ・コミュニケーション能力・自己表現力，多文化状況への興味・関心と学習意欲に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため，外国人留学生入試では，面接を中心とした考査を行います。
- ・なお，外国語（英語）検定試験の結果を出願要件として活用します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎 学 力	語学力 (英語)	批判的 思考力	論理的 思考力	ライテ ィング 能力	文 章 構成力	コミュ ニケー ション 能 力	自己表 現能力	多文化 状況へ の興味 ・関心	オランダ -ヨーロ ッパ への興 味・関心	学習・ 研究 意欲
前期日程 (3コース)	○	○	○	○	○				○		
前期日程 (オランダ)	○	○	○	○	○			○	○	○	○
後期日程 (3コース)	○	○	○	○		○		○	○		○
AO入試I (3コース)	○	○		○			○	○	○		○
AO入試I (オランダ)	○	○		○			○	○	○	○	○
帰国子女 入試	○	○					○	○	○		○
外国人留 学 生 入試	○	○					○	○	○		○

〔教育学部のアドミッション・ポリシー〕

1. 教育理念・目標

教育学部の教育理念は、「人と人とを結ぶ」ところにあり、多様化した現代社会に対応できる教員の養成を目的としています。

人間形成に関わる専門的な研究や実践を通して、高度な学識と豊かな人間性、実践的な指導力を備えた、広い意味での教育専門家の育成をめざしています。

2. 求める学生像

- (1) 教育専門家になろうとする明確な意思と、そのための資質を持つ人
- (2) 現代の学校と教育の直面するさまざまな問題について、幅広くかつ深く学び、研究しようとする意欲がある人
- (3) 自ら専門を十分に習得できる学力を持つ人

3. 入学者選抜の基本方針

教育学部の入学試験では、大学での多様な教育研究に必要な基礎的な学力、各種学校の教員をめざそうとする意思と教員としての資質、それぞれのコース、専攻が求める技能や能力を備えているかを評価します。

4. 選抜方法

【一般入試】

- (1) 前期日程 基礎的な学力を大学入試センター試験で、それぞれのコース・専攻が求める知識、技能や能力、思考力・判断力・表現力、教員としての資質、教員への意欲などを各コース・専攻が課す個別学力検査（学科試験、小論文、実技検査、面接）で評価します。
- (2) 後期日程 基礎的な学力を大学入試センター試験で、思考力・判断力・表現力、教員としての資質、教員への意欲などを小論文で評価します。

【アドミッション・オフィス入試Ⅰ（AO入試Ⅰ）】

第1次選考 基礎的な学力とコース・専攻の求める知識・技能・能力を調査書で、高等学校までの学習やその他の活動状況、教員への意欲や教員としての資質などを自己推薦書と諸活動の記録で評価します。

第2次選考 それぞれのコースが求める知識、技能や能力、思考力・判断力・表現力、教員としての資質、教員への意欲などを課題論文、自己表現、個人面接で評価します。

【推薦入試Ⅰ】

それぞれのコース・専攻が求める知識、技能や能力、思考力・判断力・表現力、教員としての資質、教員への意欲などを小論文、面接、実技検査、志望理由書、調査書などで評価します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

		基礎的な学力	思考力・判断力・表現力	コース・専攻の求める知識・技能・能力	教員への意欲とその資質	
一般入試	前期日程	大学入試センター試験	○			
		個別学力検査	小論文		○	○
			学科試験		○	○
			実技検査			○
	後期日程	面接			○	
		大学入試センター試験	○			
AO入試Ⅰ	個別学力検査（小論文）			○	○	
	課題論文			○	○	
	自己表現				○	
	個人面接				○	
	調査書		○		○	
自己推薦書・諸活動の記録				○		

推薦入試 I	小論文		○	○	○
	面接			○	○
	実技検査			○	○
	調査書	○		○	○
	志望理由書				○

【経済学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

経済学部は、「グローバルな視野を持って現代の経済・経営の諸問題を解決できる実践的エコノミストの養成」を教育理念として、グローバル化が進む現代経済社会の諸問題を解決し、社会の調和的発展に貢献する能力を持つ人材の育成を目指しています。このような人材は、広い教養や経済・経営に関する知識をもち、問題解決とその結果の伝達に関する知的技術を身につけ、これら知識と技術、さらに創造的思考を組み合わせて、問題を論理的に俯瞰し、主体的に解決できる能力を備えた人材であると考えています。

2. 求める学生像

- (1) 基礎的学力が身についている人
- (2) 論理的思考力が身についている人
- (3) 英語を含むコミュニケーション力が身についている人
- (4) 強い学習意欲、主体性や行動力がある人
- (5) 現代社会の諸問題に強い関心がある人

3. 入学者選抜の基本方針

経済学部の入学試験では、入学後の大学教育に対する基礎学力を重視しますが、断片的な知識の単なる蓄積や記憶力ではなく、論理的に物事を考え表現する力、英語を含むコミュニケーション力、問題探究・解決能力、未知の問題に主体的に取り組む意欲、現代社会の諸問題への関心の高さを評価します。

4. 選抜方法

【一般入試】

- (1) 前期日程
 - ・基礎学力、論理的思考力、英語を含むコミュニケーション力に特に焦点をあてた評価・選抜を行います。
 - ・そのため、前期日程では大学入試センター試験、個別学力試験を課し、調査書を評価します。
- (2) 後期日程
 - ・基礎学力、論理的思考に特に焦点をあてた評価・選抜を行います。
 - ・そのため、後期日程では大学入試センター試験、個別学力試験（小論文）を課し、調査書を評価します。

【アドミッション・オフィス入試 I（AO入試 I）】

- ・高い学習意欲、主体性、行動力に特に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、アドミッション・オフィス入試 I では自己推薦書、諸活動の記録及び調査書等を評価し、課題論文、面接を課します。

【推薦入試 I】

- ・高い学習意欲、主体性、行動力と現代社会の諸問題への興味・関心に特に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、推薦入試では調査書、校長推薦を評価し、小論文（英語の問題を含む）、面接を課します。

【外国人留学生入試】

- ・日本語・英語を主とするコミュニケーション力と学習意欲、主体性、行動力に特に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、外国人留学生入試では日本語留学試験、英語外部試験、小論文、面接を課します。

【社会人入試】

- ・学習意欲，主体性，行動力と社会の諸問題への高い関心に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため，社会人入試では志望理由書，推薦書，履歴書，就業証明書，調査書を評価し，小論文，面接を課します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎学力	論理的思考力	英語を含む コミュニケーション力	学習意欲， 主体性， 行動力	社会の諸問題 への関心
前期日程	◎	○	○		
後期日程	◎	◎			
AO入試Ⅰ	○	○		◎	
推薦入試Ⅰ	○	○		○	○
外国人留学生入試	○	○	○	○	
社会人入試	○	○		○	○

【医学部（医学科）のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

医学科の教育の理念・目標は，深い医学知識と豊かな科学的創造性，高い倫理観を有し，科学性と自立性・社会性をともに身に付けた責任感あふれる次世代のリーダーとなるべき医療従事者，教育者及び研究者を育成することです。このため，「医学を学び，科学を学び，人間を学ぶ」をモットーに，基礎医学・臨床医学の総合的理解，医科学的創造性の養成，医師としての社会的責任と人間性の確立を重視した教育を実施します。特に科学的独創性を有し医科学の分野において，英語力を活かし国際的にも活躍できる人材の養成を目指します。

2. 求める学生像

- (1) 入学後の就学に必要な基礎学力を有している。
- (2) 創造的能力・理論的思考力に富み，責任感が強く，協調性と思いやりがある。
- (3) ヒトの命に携わる医学・医療分野に対して熱意と高い志を持つ。
- (4) 医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するという明確な目的意識がある。
- (5) 医学・医療分野のみでなく，広く生命科学分野，さらには心理的・社会的諸問題にも興味を有する。

3. 入学者選抜の基本方針

医学部医学科の入学試験では，入学後の就学に必要な基礎学力を基本とし，問題解決能力，論理的思考力及び医学・医療分野に対する熱意と意欲を評価します。

4. 選抜方法

これらの医学教育を達成するため，以下のような選抜方法をとります。なお，地域医療や基礎研究に貢献できる人材の育成のため，一般入試に加えて学校推薦による入試方法も採用しています。

【一般入試】・【外国人留学生入試】

一般入試及び外国人留学生入試では，医学・医療分野に対して熱意と高い意志を持ち，この分野の職業に生涯にわたり従事するという明確な目的意識がある人を求めます。

【推薦入試Ⅱ】

推薦入試Ⅱでは，地域枠（推薦入試A・B・C），一般研究医枠（推薦入試D），熱帯医学研究医枠（推薦入試E）と国際保健医療枠（推薦入試F）を設けています。

推薦入試A・Bでは，自己の適性を考えて，長崎県の地域医療に貢献するという明確な目標を持ち，それを貫く強い意志を有する人を求めています。推薦入試Cでは，佐賀県・宮崎県の地域医療に貢献するという明確な目標を持ち，それを貫く強い意志を有する人を求めています。

推薦入試Dでは，大学卒業後，長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進

学し、基礎研究者として医学の発展に貢献するという明確な目標を持ち、それを貫く強い意志を有する人を求めています。

推薦入試Eでは、大学卒業後、長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学し、熱帯医学の基礎研究に貢献するという明確な目標を持ち、それを貫く強い意志を有する人を求めています。

推薦入試Fでは、大学卒業後、長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学し、国際保健医療、特に放射線健康科学分野に貢献するという明確な目標を持ち、それを貫く強い意志を有する人を求めています。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎 学力	問題解 決能力	論理的 思考力	地域医療 への意欲	基礎医学 研究への 意欲	熱帯医学の 基礎研究へ の意欲	国際保健 医療への 意欲
前期日程	○	○	○				
外国人留学 生入試	○	○	○				
推薦入試 A, B, C	○	○	○	○			
推薦入試D	○	○	○		○		
推薦入試E	○	○	○			○	
推薦入試F	○	○	○				○

【医学部（保健学科）のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

保健学科は「生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養を備えて、広く社会に貢献できる資質の高い医療専門職員の育成」を教育理念として、具体的には①高度な専門的知識・技能を有し、広く社会に貢献できる、②高い倫理観と他者への共感を持って身体的・心理的・社会的な視点から対象者を評価し、適切に援助することができる、③保健医療と社会の関係について主体的に考え、医療・保健・福祉の連携・協働に向けてパートナーシップやリーダーシップを発揮して行動することができる、④グローバルな視点を持ち、国際的に貢献できる、人材の育成を教育目標として掲げています。

2. 求める学生像

- (1) 医療・保健・福祉に強い興味、関心を持ち、地域社会・国際社会に貢献しようとする意欲のある者
- (2) 基礎となる優れた学力、幅広い教養、豊かな人間性を備え、自ら学ぼうとする意欲のある者
- (3) 課題の解決に向けて主体的に考えて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動しようとする者

3. 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科の入学試験では、入学後の大学教育に対する基礎学力を重視し、医療（看護、理学療法、作業療法）に対する強い興味・関心进行评估します。

4. 選抜方法

【一般入試】

(1) 前期日程

- ・ 大学入学後の学習に必要な基礎学力を有しているかに焦点を当てた評価・選抜を行います。
- ・ そのために、大学入試センター試験、個別学力検査（外国語）を課します。

(2) 後期日程

- ・ 大学入学後の学習に必要な基礎学力を有しているか、学習に取り組む主体的、積極的な意欲・態度、医療（看護・理学・作業）に対する強い興味・関心があるかの三点に焦点を当てた評価・選抜を行います。
- ・ そのために、大学入試センター試験、個別学力検査（小論文、面接）を課し、調査書と合わせた総合評価を行います。

【推薦入試Ⅰ】

- ・ 大学入学後の学習に支障のない学力を有しているか、学習に取り組む主体的、積極的な意欲・態度、医療（看護・理学・作業）に対する強い興味・関心があるかの三点に焦点を当てた評価・選抜を行います。
- ・ そのために、小論文を課し、調査書（学習成績評価概評が A 段階以上）、推薦書、面接、志望理由書と合わせた総合評価を行います。

【社会人入試】

- ・ 大学入学後の学習に支障のない学力を有することを前提とし、学習に取り組む主体的、積極的な意欲・態度、医療（看護・理学・作業）に対する強い興味・関心があるかの二点に焦点を当てた評価・選抜を行います。
- ・ そのために、小論文と面接を課し、評価を行います。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎学力	学習への意欲・態度	医療への興味・関心
前期日程	○		
後期日程	○	○	○
推薦入試Ⅰ	○	○	○
社会人入試		○	○

【歯学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

歯学部は、「基本的教養と幅広い歯科口腔医学専門知識を習得し、今後の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓く国民の目線に立った歯科医師及び研究者を養成する」を教育理念として、将来の歯科口腔医学、歯科口腔医療を切り拓く担い手となることをめざし、幅広い教養と最新の専門知識、また歯科口腔医療に関する基本的技術を習得し、責任感と社会性を身につけ、患者の安心と信頼を得られる人間性豊かな歯科医師を輩出することを目標としています。具体的には、（1）責任感、社会性を持ち、歯科医師としての倫理観と豊かな人間性を身につけている。（2）コミュニケーション能力と協調性を身につけている。（3）生命科学へのリサーチマインドを身につけている。（4）離島等の地域歯科口腔医療について保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる。（5）先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけている。以上のような人材の育成を教育目標として掲げています。

2. 求める学生像

- (1) 歯科口腔医学、歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識並びに使命感を持っている。
- (2) コミュニケーション能力と協調性に富んだ奉仕の精神を持っている。
- (3) 修学に要する基礎学力を有している。
- (4) AO入試では、将来我が国の最先端歯科口腔医療、歯科口腔医学研究又は歯科口腔医学教育を担うことを目指し、歯学部卒業後大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するため、歯学研究コースを履修する人を求めている。

3. 入学者選抜の基本方針

歯学部の入学試験では、入学後の修学に要する基礎学力を有しており、かつコミュニケーション能力と協調性に富んだ奉仕の精神を持ち、歯科口腔医学、歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識並びに使命感を持っている人物を評価します。

4. 選抜方法

【一般入試】

(1) 前期日程

- ・修学に要する基礎学力を有しているかどうかに関心をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、前期日程では大学入試センター試験、個別学力試験を課し、調査書を評価します。

(2) 後期日程

- ・修学に要する基礎学力を有しているかどうかに関心をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、後期日程では大学入試センター試験、個別学力試験を課し、調査書を評価します。
- ・さらにコミュニケーション能力と協調性を有することに焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、後期日程では面接を課します。

【アドミッション・オフィス入試Ⅱ（AO入試Ⅱ）】

- ・最先端歯科医療、歯学研究又は歯学教育を担うことを目指す意思を有しているかどうかに関心をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、AO入試Ⅱでは自己推薦書を課し、面接を評価します。
- ・修学に要する基礎学力を有しているかどうかに関心をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、AO入試Ⅱでは大学入試センター試験、課題論文を課し、調査書を評価します。
- ・さらにコミュニケーション能力と協調性を有することに焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、AO入試Ⅱでは面接を課します。

【外国人留学生入試】

- ・修学に要する基礎学力を有しているかどうかに関心をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、外国人留学生入試では日本語学力試験と個別学力試験を課します。
- ・さらにコミュニケーション能力と協調性を有することに焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、外国人留学生入試では面接を課します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎学力	コミュニケーション能力と協調性	最先端歯科医療、歯学研究又は歯学教育を担うことを目指す意思	歯学部卒業後、大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学する意思
前期日程	○			
後期日程	○	○		
AO入試Ⅱ	○	○	○	○
外国人留学生入試	○	○		

【薬学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

薬学には、医薬品の創製、医療、健康・環境に関する基礎及び応用の科学を教育、研究すること、並びに「くすり」の専門家として社会的使命を遂行しうる人材を養成することが求められています。

「ヒトの健康を目指して」を標語とする本薬学部には、薬科学科（4年制）と薬学科（6年制）の2学科を置き、薬科学科では医薬品の開発・生産、環境衛生の分野等において主導的な役割を果たすことができる人材の育成、一方、薬学科では「くすり」を正しく理解して適正に使用することができる薬剤師の育成を目指しています。

したがって、薬学部では、薬学に対する目的意識が明確で、創造的能力、論理的思考力に富み、責任感が強く、協調性と思いやりのある学生の入学を期待しています。

2. 求める学生像

<薬学科（6年制）>

- (1) 幅広く十分な基礎学力がある。
- (2) 特に、数学・理科・英語の学力が優れている。
- (3) 論理的な思考能力がある。
- (4) 協調性やコミュニケーション能力を持つ。
- (5) 生命科学・臨床薬学分野に高い関心がある。
- (6) 博士号を取得し、生命科学・臨床薬学研究者として活躍する意思がある。

<薬科学科（4年制）>

- (1) 幅広く十分な基礎学力がある。
- (2) 特に、数学・理科・英語の学力が優れている。
- (3) 論理的な思考能力がある。
- (4) 積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- (5) 生命科学・創薬科学分野に高い関心がある。
- (6) 博士号を取得し、生命科学・創薬科学研究者として活躍する意思がある。

3. 入学者選抜の基本方針

薬学部の入学試験では、高等学校の教育課程を尊重し、幅広く十分な基礎学力、数学・理科・英語の学力、並びに、論理的な思考能力や問題解決能力を重視して評価します。

4. 選抜方法

<薬科学科（4年制）><薬学科（6年制）>

【一般入試】

(1) 前期日程

- ・幅広く十分な基礎学力、数学・理科・英語の学力、並びに、論理的な思考能力や問題解決能力を評価します。
- ・そのため、前期日程では大学入試センター試験（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）、個別学力試験（数学、理科、外国語）を課しています。薬科学科では、個別学力試験の比重を高くしています。

(2) 後期日程

- ・幅広く十分な基礎学力、数学・理科・英語の学力、並びに、論理的な思考能力や問題解決能力を評価します。
- ・そのため、後期日程では大学入試センター試験（数学、理科、外国語）、個別学力試験（総合問題）を課しています。

【外国人留学生入試】

- ・幅広く十分な基礎学力、数学・理科・英語の学力、並びに、論理的な思考能力や問題解決能力を評価します。また、学習・研究意欲を評価します。
- ・そのため、日本留学試験（日本語、理科、数学 コース2）、個別学力試験（数学、理科、外国語）、並びに面接を課します。

<薬科学科（4年制）>

【アドミッション・オフィス入試Ⅱ（AO入試Ⅱ）】

- ・幅広く十分な基礎学力、数学・理科・英語の学力、並びに、論理的な思考能力や問題解決能力を評価します。また、学習・研究意欲を評価します。
- ・そのため、第1次選考では、自己推薦書、諸活動の記録及び調査書等を活用し選抜を行います。
- ・第2次選考では、大学入試センター試験（数学、理科、外国語）、総合問題、並びに、面接を課します。ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として75%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としません。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

		基礎学力	数学・理科・ 英語の学力	論理的思考 能力	問題解決能 力	学習・研究意 欲
前期日程	薬学科	○	◎	○	○	
	薬科学科	○	◎	◎	◎	
後期日程		○	◎	◎	○	
A O入試Ⅱ(薬科学科)		○	○	○	◎	◎
外国人留学生入試		○	○	○	○	○

【工学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

工学部の理念「アジアの鼓動響く街長崎で、知と心と工学センスを育み、未来を拓く科学技術を創造することによって、社会の持続的発展に貢献する。」に則して、工学技術者として要求される課題探求能力、コミュニケーション能力及び技術者倫理を身につけた人材を養成することを目標とします。この目標を達成するために、工学部工学科は以下のような6つのコースの教育理念・目標を掲げています。

<機械工学コース>

機械工学コースは、機械が社会に果たす役割を考えたものづくりの教育及び研究を実行するために、「機械の基礎」という基盤の上に「機械と人間」、「機械と環境」という二つの観点からの教育・研究体制を再構築しています。教育においては、以下のことを目指しています。

- (1) 学生自ら積極的に行動し学習する人間力を養成します。
- (2) 工学の基礎科目を修得し、応用することができる工学力の養成を進めます。
- (3) その基盤の上に機械工学を学び、これからの社会を創造できる技術者を育てます。

<電気電子工学コース>

電気電子工学コースは、電気工学、電子工学、情報通信工学の3つの学問的柱からなり、エネルギー、エレクトロニクス、コンピュータ、コミュニケーションなど、これからの「住みよい高度な科学技術社会」をハードウェアとソフトウェアの両面から支えるコースです。急速に発展する科学技術に対応が可能な教育研究基盤を形成し、人の暮らしを支える基幹分野でグローバルに活躍できる技術者及び研究者を養成することを目指しています。

<情報工学コース>

情報工学コースは、「次世代の情報システム技術を創り、コンピュータと人間の未来を拓く」をメインテーマとして、IT分野及びITを必要とする様々な分野で活躍できる人材を育てることを目標としています。

- (1) 工学基礎、情報科学、技術英語など、情報技術者として必要な基礎科目を修得させます。
- (2) 講義科目と演習科目を体系的に配置し、プログラミング技術を無理なく修得させます。
- (3) 4年間で、ハードウェア、ソフトウェア、アルゴリズムなどの基礎技術、及びこれらの応用としての高度情報処理技術、ネットワーク構築技術を備えた人材を養成します。

<構造工学コース>

構造工学コースでは、建物、橋梁、自動車、プラント、船舶、航空機、宇宙構造物などの構造物を造るために必要な理論、設計法、施工法などの基礎学力を身につけ、幅広いものづくりに貢献できる技術者を養成します。具体的には、

- (1) 産業社会における様々な構造物を安心安全に造る上で要求される数学、力学、コンピュータシミュレーション、設計製図などの構造工学の基礎知識を修得させます。
- (2) 国際的視野を持たせるために英語コミュニケーションを重視し、その能力をつけさせます。
- (3) 一級建築士の資格取得に向けたカリキュラムを配置し、希望者に提供して修得させます。

<社会環境デザイン工学コース>

社会環境デザイン工学コースでは、私たちの生活に不可欠な道路や橋、港湾、ライフライン施設(上下水道、電気、都市ガス)、公園などの社会基盤施設を対象に、各施設の計画・設計・施工・維持管理に関する専門的知識を身につけ、都市域のみに限定せず、離島や山間部などにおいても、人間活動と自然環境との調和に配慮しながら、「安全で豊かな社会」と「持続可能な環境」のデザインに技術者として貢献できる人材を養成します。

<化学・物質工学コース>

化学・物質工学コースでは、人類に有用な新しい物質・薬品・材料を創製することや環境にやさしいエネルギー変換技術などを開発するための基礎的な実力、すなわち、数学、物理などの工学基礎、化学、生物工学、材料工学分野の基礎知識と専門知識ならびに国際性を身につけ、未来を開拓できる技術者を養成します。さらにはナノテクノロジーやバイオテクノロジーのような先端的かつ学際的な領域でも活躍できる幅広い知識と課題設定・解決能力を身につけた人材を養成します。涵養する実力は、卒業後に大学院に進学して研究者・開発者・高度専門技術者を目指すための礎にもなります。

2. 求める学生像

- (1) 地球と自然環境に配慮した循環型社会の実現や、物質・エネルギー・メカニクス・デバイス・情報技術の創出と高効率利用法の発展に強い意欲を持つ者
- (2) 世界に通用する工学基礎力と発想力を磨きあげ、将来、地球と人類社会に貢献することを目指す者
- (3) 学習意欲が旺盛である者
- (4) 社会性に富み、主体性、実行力を有する者
- (5) 論理的思考力を有する者
- (6) 卒業後に大学院工学研究科に進学し、高度専門技術者・研究者を目指す者を歓迎する

3. 入学者選抜の基本方針

工学部の入学試験では、高等学校までの教育課程で培われた基礎学力を重視し、断片的な知識の単なる蓄積や記憶力だけではなく、与えられた問題を論理的に考え、その解を誘導する力（問題解決能力）を評価します。特に、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜に際しては数学及び理科（物理や化学）の基礎学力を重視します。

4. 選抜方法

【一般入試】

- ・基礎学力及び問題解決能力に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、前期日程では大学入試センター試験及び個別学力試験（数学、理科（物理又は化学）、外国語（英語））を課しています。
- ・一方、後期日程では大学入試センター試験及び個別学力試験（総合問題：高等学校の学習一般（数学、物理、化学）を前提とした筆記試験）を課しています。
- ・なお、理科については少なくとも2科目を学習して十分理解している者を選抜します。

【アドミッション・オフィス入試Ⅰ（AO入試Ⅰ）】

- ・明確なコース志望を強く持ち、自己推薦書及び調査書に加え、面接試験等によって適性と基礎学力に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・募集区分Aでは、高等学校までの履修科目の基礎事項（特に数学、物理、化学、英語）をよく理解し、将来、専門技術者として社会で広く活躍したいと強く希望する者を選抜します。
- ・募集区分Bでは、工業高校等で各コースに関連する工業等に関する科目の基礎事項をよく理解し、将来、専門技術者として社会で広く活躍したいと強く希望する者を選抜します。

【アドミッション・オフィス入試Ⅱ（AO入試Ⅱ）】

- ・高等学校までの履修科目の基礎事項（特に数学、物理、化学、英語）をよく理解し、各コースに対応した工学分野に関する強い興味・関心を有するとともに、専門知識を活かして社会に貢献したいと希望している者を選抜します。
- ・そのため、大学入試センター試験及び面接試験を課すとともに、それらの結果に基づき数学及び理科の科目の実力が特に優れている者を評価・選抜します。

【帰国子女入試】

- ・数学、物理、化学、英語に関する基礎学力を有するとともに、コース分野に関して強い勉学意欲を持ち、将来その分野で地域社会や国際社会に貢献しようとする者を選抜します。
- ・そのため、面接試験及び提出された書類審査の結果を総合的に評価します。

【外国人留学生入試】

- ・数学、物理、化学に関する基礎学力及び学習に必要な語学力（日本語、英語）を有するとともに、コース分野に関して強い勉学意欲を持ち、将来その分野で日本と母国との架け橋となって国際社会に貢献しようとする者を選抜します。
- ・そのため、日本留学試験及び面接試験を課して、それらの結果を総合的に評価します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎学力	問題解決能力	論理的思考力	志望動機	コミュニケーション能力	国際感覚	数学及び理科(物理, 化学)の高い学力
前期日程	○	○	○				○
後期日程	○	○	○				○
AO入試Ⅰ	○		○	○			
AO入試Ⅱ	○	○	○	○			○
帰国子女入試	○			○		○	
外国人留学生入試	○			○	○	○	

【環境科学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

環境科学部は、人間と環境の調和的共生という人類史的な課題に対し、自然と人間との調和を踏まえた自然環境の保全と持続可能な人間社会の創造・実現に寄与することを理念としています。その実現に向けて、分化した従来の学問や科学の領域にとらわれることなく、文系・理系の両面から環境をめぐる諸問題を多角的に捉える視点を持ち、問題解決のための専門的知識や能力を有する人材の養成を目指しています。

2. 求める学生像

- (1) 本学部での就学の基礎となる学力が身につけている人
- (2) 論理的思考力をもっている人
- (3) 環境への強い関心を持ち、環境科学を幅広く学ぶ意欲をもっている人
- (4) 自主的に行動できる人
- (5) 責任感が強く、協調性と思いやりがある人
- (6) 社会に対する奉仕の志がある人

3. 入学者選抜の基本方針

環境科学部の入学試験では、幅広い基礎学力を尊重し、論理的思考、学習及び環境問題に取り組む意欲を評価します。また、社会貢献と環境科学の発展に資する人物を重視します。

4. 選抜方法

【一般入試】

前期日程

- ・前期日程では、幅広い基礎学力に焦点をあてた評価・選抜を行います。
- ・そのため、前期日程では大学入試センター試験、個別学力試験を課します。

後期日程

- ・後期日程では、文系分野または理系分野のいずれかに特に秀でた学力を有し、意欲的な学習志向のもとに、社会的貢献と環境科学の発展に資することのできる優秀な人物を選抜します。
- ・そのため、後期日程では大学入試センター試験、面接を課します。

【推薦入試Ⅱ①】

- ・在籍する（在籍した）学校において、普通科における勉学及び勉学以外の諸活動等の両面において学校長の推薦を受けるにふさわしい優秀な成績や成果を残すとともに、環境科学を学ぶ強い意欲を有し、社会的貢献と環境科学の発展に資することのできる人物を選抜します。
- ・そのため、推薦入試Ⅱ①では大学入試センター試験を重視しつつ、調査書、推薦書、志望理由書の評価し、面接を課します。

【推薦入試Ⅱ②】

- ・在籍する（在籍した）学校において、専門教育を主とする学科または総合学科における勉学及び勉学以外の諸活動等の両面において学校長の推薦を受けるにふさわしい優秀な成績や成果を残すとともに、環境科学を学ぶ強い意欲を有し、社会的貢献と環境科学の発展に資することのできる人物を選抜します。
- ・そのため、推薦入試Ⅱ②では調査書、推薦書、志望理由書を重視しつつ、大学入試センター試験及び面接を課します。

【外国人留学生入試】

- ・環境科学に対する強い学習意欲とそれを学ぶための日本語を主とする基礎学力をもち、豊かな感性と国際的な広い視野をもって、環境科学の発展に貢献しようとする人物を選抜します。
- ・そのため、外国人留学生入試では日本留学試験、小論文、面接を課します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎 学力	文系ま たは理 系学力	論理的 思考力	環境へ の関心	学習・ 研究 意欲	社会的 貢献へ の意欲	国際的 な広い 視野	日本語
前期日程	○							
後期日程	○	○	○	○	○	○		
推薦入試Ⅱ①	○		○	○	○	○		
推薦入試Ⅱ②			○	○	○	○		
外国人留学生 入試	○		○	○	○		○	○

【水産学部のアドミッション・ポリシー】

1. 教育理念・目標

水産学部では、基本的教養と海洋環境や海洋生物に代表される水圏に関する専門分野の知識と研究方法を教育します。さらに、これらの分野に関する問題解決能力や思考能力を育成することにより、社会の各分野において広く貢献できる人材を養成します。

具体的には、次の4分野に対応した教育が中心となります。

- (1) 海洋生物資源の利用と管理
- (2) 海洋生態系及び遺伝子資源の保全
- (3) 海洋物質、特に生体物質の利用、有用物質の探索、開発
- (4) 生物生産の場としての海洋・沿岸の環境保全（評価・予測・改善）

水産学部での教育は、思考能力、自主性並びに課題探求能力を重視します。これにより国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーとなる人材を育成します。また、将来我が国の水産・海洋研究の発展に貢献し、国際的な視野で活躍できる教育者、研究者の養成を目指しています。

2. 求める学生像

- (1) 基本的教養を備え、海洋環境、海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持ち、主体的な学習姿勢を持った人
- (2) 知識偏重よりも思考能力を重視して、自主性や課題探求能力を育成し実社会で活躍できる人
- (3) 水産・海洋研究の国際拠点を目指し国際的な舞台上で活躍できる人材の養成を目指すので、幅広い内容に柔軟に対応可能な能力と資質を持った人
- (4) 諸課題を解決するために必要な知識や技能を習得した人

3. 入学者選抜の基本方針

水産学部では、水圏と社会との関わりに強い関心を持ち、主体的な学習姿勢を持った学生の入学を期待しています。

そのために、入学者選抜方法の多様化を図り、一般入試、アドミッション・オフィス入試（AO

入試), 推薦入試, 帰国子女入試, 外国人留学生入試を実施します。これらの試験では, 基礎学力, 論理的思考力, 問題解決能力, 学習・研究意欲, 水圏と社会の関わりへの関心について評価を行います。各試験で重視する項目については, 下表を参照して下さい。

4. 選抜方法

【一般入試】

(1) 前期日程

- ・基礎学力と問題解決能力を重視した評価・選抜を行います。
- ・そのため, 前期日程では大学入試センター試験, 個別学力試験を課し, 2段階選抜を実施します。水産学部が指定する大学入試センター試験の5教科7科目または5教科8科目の合計点が900点満点中450点以上の者を第1段階選抜の合格者とし, 第2段階の可否は個別学力検査等の成績のみで判定します。

(2) 後期日程

- ・基礎学力と水圏と社会の関わりへの関心, 学習・研究意欲に重点を置いた評価・選抜を行います。
- ・そのため, 後期日程では大学入試センター試験, 面接を課します。

【アドミッション・オフィス入試 I (AO入試 I)】

- ・水圏と社会の関わりへの関心, 職業に関する教育を通して習得した問題解決能力, 学習・研究意欲に重点を置いた評価・選抜を行います。
- ・そのため, AO入試では, 自己推薦書, 諸活動の記録及び調査書を評価し, 課題論文, 小テスト, 面接を課します。

【推薦入試 I】

- ・基礎学力, 水圏と社会の関わりへの関心, 学習・研究意欲に重点を置いた評価・選抜を行います。
- ・そのため, 推薦入試では, 調査書, 学校推薦書及び志望理由書を評価し, 面接を課します。

【帰国子女入試】

- ・基礎学力, 論理的思考力, 学習・研究意欲に重点を置いた評価・選抜を行います。
- ・そのため, 入試では, 提出された書類を評価し, 小論文と面接を課します。

【外国人留学生入試】

- ・日本語と理数科目の基礎学力, 学習・研究意欲, 水圏と社会の関わりへの関心に重点を置いた評価・選抜を行います。
- ・そのため, 入試では, 提出された書類を参考に面接を課します。

5. 各選抜試験で特に重視するポイント

	基礎 学力	論理的 思考力	学習・ 研究意欲	問題解 決能力	水圏と社会の 関わりへの関心
前期日程	○			○	
後期日程	○		○	○	○
AO入試 I	○	○	○	○	○
推薦入試 I	○	○	○		○
帰国子女入試	○	○	○		
外国人留学生入試	○		○		○

2. 入学者選抜実施日程

〔一般入試〕

区 分	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続
前期日程	全 学 部	11月下旬	1/25(月) ～ 2/ 3(水)	2/25(木) *教育学部中学校 教育コース 技術専攻及び 医学部医学科は、 2/26(金) も実施する。	3/ 8(火)	3/14(月) 3/15(火)
後期日程	全 学 部			3/12(土)		

〔アドミッション・オフィス入試（AO入試）〕

区分 (注1)	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	第1次選考 結果発送	第2次選考日	合格者発表	入学手続	
AO入試Ⅰ	多文化社会学部	7月上旬	8/31(月) ～ 9/ 4(金)	9/25(金)	10/ 3(土)	10/21(水)	12/7(月)	
	経済学部				10/ 8(木) (注2)			
	工学部							10/ 8(木) 10/ 9(金)
	水産学部							10/ 9(金) 10/10(土)
	教育学部							
AO入試Ⅱ	薬学部 (薬科学科)	11/ 9(月) ～ 11/13(金)	12/ 4(金)	1/21(木)	2/10(水)	2/17(水)		
	歯学部			1/22(金)				
	工学部			1/26(火)				

注1) 区分「AO入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないもの、区分「AO入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものを表す。

2) AO入試Ⅰの第2次選考日で、工学部は志願者多数の場合、選考が翌10月9日（金）にわたることがある。

〔推薦入試, 帰国子女入試, 社会人入試, 外国人留学生入試〕

区 分		学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続
推 薦 入 試 (注1)	[推薦入試Ⅰ]	教育学部 経済学部 医学部 (保健学科) 水産学部	9月上旬	11/ 2(月) ～ 11/ 6(金)	11/19(木) (注2)	12/ 3(木)	12/21(月)
	[推薦入試Ⅱ]	医学部 (医学科) 環境科学部		12/14(月) ～ 12/18(金)	1/22(金) 1/29(金)	2/10(水)	2/17(水)
帰国子女入試		多文化社会学部 工 学 部 水 産 学 部		11/ 2(月) ～ 11/ 6(金)	11/19(木)	12/ 3(木)	12/21(月)
社会人入試		経済学部 (夜間主コース) 【11月期】		10/19(月) ～ 10/23(金)	11/ 7(土)	11/25(水)	12/21(月)
		医学部 (保健学科)			11/14(土)		
		経済学部 (夜間主コース) 【3月期】		2/12(金) ～ 2/18(木)	3/ 5(土)	3/18(金)	3/26(土)
外国人留学生 入 試		多文化社会学部 工 学 部 環 境 科 学 部		11/20(金) ～ 11/27(金)	1/27(水)	2/10(水)	2/18(木)
		経済学部 水産学部			1/29(金)		
		教育学部 医学部 歯学部 薬学部			2/25(木)	*教育学部中学校 教育コース技術 専攻は2/26(金)に 実施する。 *医学部は2/26(金) も実施する。	3/ 8(火)

注1) [推薦入試Ⅰ]は大学入試センター試験を課さないもの、[推薦入試Ⅱ]は大学入試センター試験を課すものを表す。

2) 推薦入試Ⅰの試験日で、教育学部及び水産学部は志願者多数の場合、面接が翌11月20日(金)にわたることがある。

3. 募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員									
			一般入試 (分離・分割方式)		アドミッション・ オフィス入試		推薦入試		帰国 子女 入試	社会人 入試	外国人 留学生 入試	
			前期 日程	後期 日程	AO 入試 I	AO 入試 II	推薦 入試 I	推薦 入試 II				
多文化社会学部	多文化社会学科	グローバル社会コース 社会動態コース 共生文化コース	100	68	10	12				若干人		若干人
		オランダ特別コース		7		3				若干人		若干人
	小計	100	75	10	15							
教育学部	小学校 教育 コース	子ども理解実践専攻 教科授業実践専攻 ICT活用実践専攻 多文化理解実践専攻	240	55	15	15		40				若干人
		国語専攻		5				3				若干人
	社会専攻	5					3				若干人	
	数学専攻	7					2				若干人	
	理科専攻	7					3				若干人	
	中学校 教育 コース	音楽専攻		4				1				若干人
		美術専攻		4				1				若干人
		保健体育専攻		5				2				若干人
		技術専攻		3				2				若干人
		家庭専攻		3				2				若干人
		英語専攻		6				2				若干人
		幼稚園 教育 コース		芸術的感性開発専攻 こども保育専攻	15			10	5			
	特別支援教育コース	7		3	1		4				若干人	
小計	240	126	18	26		70						
経済学部	総合経済学科	昼間コース	265	190	40	5		30			若干人	
		夜間主コース	60							60		
	小計	325	190	40	5		30			60		
医学部	医学科		116	76				40			若干人	
	保健 学科	看護学専攻	70	48	10		10			2	若干人	
		理学療法学専攻	18	10	5		2			1	若干人	
		作業療法学専攻	18	10	5		2			1	若干人	
		計	106	68	20		14			4		
小計	222	144	20		14	40			4			
歯学部	歯学科		50	33	7	10					若干人	
薬学部	薬学科		40	30	10						若干人	
	薬科学科		40	21	15	4					若干人	
	小計		80	51	25	4						
工学部	工 学 科	機械工学コース	380	263	50	6	5			若干人	若干人	
		電気電子工学コース				10	2			若干人	若干人	
		情報工学コース				4	4			若干人	若干人	
		構造工学コース				7	5			若干人	若干人	
		社会環境デザイン工学コース				13	2			若干人	若干人	
		化学・物質工学コース				6	3			若干人	若干人	
	小計	380				263	50	46	21			
環境科学部	環境科学科	選抜方法A(文系)	130	40	13			6	4		8	
		選抜方法B(理系)	40	40	13			6				
	小計	130	80	26				16			8	
水産学部	水産学科		110	45	45	5		15		若干人	若干人	
合計			1,637	1,007	241	97	35	129	56		64	8

注1)「AO入試 I」及び「推薦入試 I」は大学入試センター試験を課さないもの、「AO入試 II」及び「推薦入試 II」は大学入試センター試験を課すものを表す。

- 2) アドミッション・オフィス入試、推薦入試及び社会人入試(医学部保健学科)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の前期日程の募集人員に加えて選抜する。
- 3) 外国人留学生入試(環境科学部)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の募集人員に加えて選抜する。
- 4) 多文化社会学部のグローバル社会コース、社会動態コース及び共生文化コースについては、2年次終了時にコースを決定する。
- 5) 教育学部小学校教育コースの各入試並びに幼稚園教育コースの推薦入試及び外国人留学生入試はコースで募集し、入学時に専攻を決定する。
- 6) 工学部工学科の一般入試は工学科全体で募集し、合格発表時にコースを決定する。(合格者のコース決定方法は、P21「②入学者選抜方法等エ」の項を参照のこと。)

4. 入学者選抜方法等

【選抜方法の概要】

* 一般入試, アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

(○は実施するもの, ×は実施しないものを表す。)

学部・学科名等		選抜方法等		一般入試 (個別学力検査等)							AO入試		備考 〔欠員の補充方法等〕																																				
				実技検査等			2段階選抜																																										
				個別学力検査を課す	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜合格者数				その他																																			
多文化社会学部	グローバル社会コース 社会動態コース 共生文化コース (注1)	前期日程	○	×	×	×	×	○	×	○ (注2)	○	×	入学定員に欠員が生じたときは、原則として追加合格者を決定し補充することとするが、欠員補充第2次募集を行うこともある。																																				
		後期日程	×	×	○	○	×	○	×	○ (注2)																																							
	オランダ特別コース	前期日程	○	×	○	×	×	○	×	○ (注2)																																							
		後期日程は実施しない						×	×	×																																							
教育学部	小学校教育コース	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×																																					
		後期日程	×	×	×	○	×																																										
	中学校教育コース	国語専攻	前期日程	○	×	×	×							×																																			
			後期日程は実施しない																																														
		社会専攻	前期日程	○	×	×	×							×																																			
			後期日程は実施しない																																														
		数学専攻	前期日程	○	×	×	×							×																																			
			後期日程は実施しない																																														
		理科専攻	前期日程	○	×	×	×							×																																			
			後期日程は実施しない																																														
		音楽専攻	前期日程	○	○	×	×							×																																			
			後期日程は実施しない																																														
		美術専攻	前期日程	○	○	×	×							×																																			
			後期日程は実施しない																																														
	保健体育専攻	前期日程	○	○	×	×	×																																										
		後期日程は実施しない																																															
	技術専攻	前期日程	○	×	○	×	×																																										
		後期日程は実施しない																																															
	家庭専攻	前期日程	×	×	×	○	×																																										
		後期日程は実施しない																																															
英語専攻	前期日程	○	×	×	×	×																																											
	後期日程は実施しない																																																
幼稚園教職コース	芸術的感性開発専攻	前期日程及び後期日程は実施しない					×	×	×	○	×																																						
	こども保育専攻	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×																																						
特別支援教育コース	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×																																						
	後期日程	×	×	×	○	×																																											
経済学部	昼間コース	前期日程	○	×	×	×							×	×	×	×	○	×																															
		後期日程	×	×	×	○							×																																				
夜間主コース	前期日程及び後期日程は実施しない					×							×							×	×	×																											
	医学部	医学科	前期日程	○	×	○							×							×	○	約5倍	×	×	×																								
後期日程は実施しない																				×	×	×	×																										
保健学科	前期日程	○	×	×	×	×							×							×	×	×	×																										
	後期日程	×	×	○	○	×							×							×	×	×	×																										
歯学部	前期日程	○	×	×	×	×							×							×	×	×	○																										
	後期日程	○	×	○	×	×																																											
薬学部	薬学科	前期日程	○	×	×	×																			×	×	×	×	×	×																			
		後期日程	○	×	×	×																			×																								
	薬科学科	前期日程	○	×	×	×																			×							×	×	×	×	○													
		後期日程	○	×	×	×																			×																								
工学部	前期日程	○	×	×	×	×																			×													×	×	○ (注3)	○								
		後期日程	○	×	×	×																																					×						
環境科学部	選抜方法A (文系受験)	前期日程	○	×	×	×																																					×	×	×	×	○	×	
		後期日程	×	×	○	×																																					×						
	選抜方法B (理系受験)	前期日程	○	×	×	×																																					×						
		後期日程	×	×	○	×	×																																										
水産学部	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	○ (注4)	○	×																																						
		後期日程	×	×	○	×								×																																			

注1) 多文化社会学部のグローバル社会コース, 社会動態コース及び共生文化コースについては, 2年次終了時にコースを決定する。
 2) 多文化社会学部における一般入試の2段階選抜の詳細は, 20ページ記載の「(1)一般入試 ②入学者選抜方法等 ア. 多文化社会学部」を参照すること。
 3) 工学部 AO入試IはAとBで出願要件が異なるので注意すること。
 4) 大学入試センター試験の5教科7科目又は5教科8科目の合計得点が900点満点中450点以上の者

* 推薦入試, 帰国子女入試, 社会人入試, 外国人留学生入試等

(○は実施するもの, ×は実施しないものを表す。)

学部・学科名等		選抜方法等		推 薦 入 試					帰国子女, 社会人等のための入学者選抜			備 考		
				入学定員の一部について, 出身学校長の推薦に基づき, 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する					帰国子女	社会人	外国人留学生			
		個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する (推薦Ⅰ)	個別学力検査を免除し, 大学入試センター試験を課す (推薦Ⅱ)	実 技 検 査 等										
実技検査を課す	面接を行う			小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	その他								
多文化社会学部		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○			
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○		
		中学校教育コース	国語専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			社会専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			数学専攻	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
			理科専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			音楽専攻	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
			美術専攻	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
			保健体育専攻	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
			技術専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			家庭専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
		英語専攻	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○		
		幼稚園教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○		
	特別支援教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○			
経 済 学 部	昼間コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○			
	夜間主コース	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×			
医 学 部	保健学科	医 学 科	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○		
		看護学専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○		
		理学療法学専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○		
		作業療法学専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○		
歯 学 部		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○			
薬 学 部		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○			
工 学 部		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○			
環境科学部	選抜方法A (文系受験)	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○			
	選抜方法B (理系受験)													
水 産 学 部		○	×	×	○ (注)	×	×	×	○	×	○			

注) 面接の中で, 論理的思考能力及び英語能力を問う口述を含む。

(1) 一般入試

① 出願資格

次のア～ケのいずれかに該当する者で、かつ、平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目を受験したものとします。

- ア. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ウ. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- エ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- オ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- カ. 文部科学大臣の指定した者
- キ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で平成28年3月31日までに18歳に達するもの
- ク. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ケ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの

② 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、高等学校長等から提出された調査書の審査を総合して行います。

ただし、大学入試センター試験において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できません。

また、個別学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなれません。

上記によるほか、多文化社会学部（前・後期日程）、経済学部（前期日程）、医学部医学科（前期日程）、工学部（前・後期日程）、環境科学部（前・後期日程）及び水産学部（前期日程）については次の方法により入学者の選抜を行います。

ア. 多文化社会学部（前・後期日程）

- 1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が①前期日程：80%以上、②後期日程：85%以上の者を第1段階選抜の合格者としてします。
- 2) 1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算）が、115点を下回る場合は、1)の得点率（英語に限る。）を見直すことがあります。
なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、平成 28 年 1 月 25 日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表します。
- 3) TOEFL iBT61点以上、TOEFL PBT500点以上、TOEFL Junior Comprehensive341点以上、TOEIC730点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上、IELTS5.5以上、GTEC for STUDENTS700点以上又はGTEC CBT1040点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱い第1段階選抜の合格者としてします。ただし、外国語検定試験のスコア・級を申請する場合であっても、大学入試センター試験における「外国語」を受験する必要があります。

注1) 外国語検定試験は、平成 26 年 2 月以降に受験した試験に限ります。ただし、実用英語技能検定（英検）については、二次試験を平成 26 年 2 月以降に受験した試験とします。

注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし、TOEFL ITP、TOEFL Junior Comprehensive（公開テストでないもの）、TOEIC IP及びGTEC for STUDENTS（OFFICIAL SCOREの印字がないもの）は対象としません。

イ. 経済学部（前期日程）

配点A及び配点Bの2つの配点方式を用いて入学者の選抜を行います。（詳細は26, 27ページ記載の「一般入試の実施教科・科目等及び配点」並びに33ページ記載のiii「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄の（注15）及び（注16）を参照してください。）

ウ. 医学部医学科（前期日程）

入学志願者が前期日程においては募集人員（76人）の約5倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定します。

エ. 工学部（前・後期日程）

工学部工学科における合格者のコースは、受験者が出願時に届け出た第1～4希望のコースに基づき、第1希望を優先して次のように決定し、合格者発表時に通知します。

合格者は、大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い者から、第1希望のコースに決定されます。ただし、各コースの第1希望者数が受入れ上限の目安^(※)を超えるときには、第2希望以下のコースに決定されることがあります。また、下位の希望コースを届け出なかった（例：第3, 4希望を書かなかった）などの事由で、出願の際に希望したコース以外になる場合もあります。

各コースの受入れ上限の目安は次のとおりです。

	(前期日程)	(後期日程)
○機械工学コース	60人程度	13人程度
○電気電子工学コース	60人程度	13人程度
○情報工学コース	40人程度	7人程度
○構造工学コース	30人程度	5人程度
○社会環境デザイン工学コース	25人程度	4人程度
○化学・物質工学コース	80人程度	16人程度

(※) 受入れ上限の目安は、各コースで教育の質を保證できる人員数に相当します。

オ. 環境科学部（前・後期日程）

文理融合教育を行う学部として、文系と理系からそれぞれ学生を受け入れるため、選抜方法A（文系受験）、選抜方法B（理系受験）の2つの方法により入学者の選抜を行います。

カ. 水産学部（前期日程）

大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しません。（個別学力検査等の成績のみで判定します。）

水産学部が指定する大学入試センター試験の5教科7科目又は5教科8科目の合計点が900点満点中450点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。（33ページ記載のv.「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」を参照してください。）

キ. その他

本学では入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しません。

③ 学力検査の実施教科・科目等及び配点

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名			個別学力検査等		2段階 選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等		
多文化社会学部 多文化社会学科 100人 前期 75 後期 10 AO 15	グローバル社会コース 社会動機コース 共生文化コース 90人 前期 68 後期 10 AO 12	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科4科目〕又は〔4教科5科目〕	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題)	2段階選抜の詳細は、20ページ 記載の「①一般入試 ②入学 者選抜方法等 ア. 多文化社 会学部」を参照すること。
		後期	国 地歴 公民 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕	その他	小論文 面接	
	オランダ特別 コース 10人 前期 7 AO 3	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科4科目〕又は〔4教科5科目〕	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題) 面接	2段階選抜の詳細は、20ページ 記載の「①一般入試 ②入学 者選抜方法等 ア. 多文化社 会学部」を参照すること。
後期		実 施 し な い					
教育学部 学校教育 教員養成 課程 240人 前期 126 後期 18 AO 26 その他 70	小学校教育コース 子ども理解実践専攻 教科授業実践専攻 ICT活用実践専攻 多文化理解実践専攻 125人 前期55 後期15 AO 15 その他40	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔6教科7科目〕	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	から1(注11)
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	小論文	
中学校教育コース 国語専攻 8人 前期 5 その他3	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔6教科7科目〕	国	国語総合・現代文B・古典B		
		実 施 し な い					
中学校教育コース 社会専攻 8人 前期 5 その他 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔6教科7科目〕	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	から1(注11)	
		実 施 し な い					
中学校教育コース 数学専攻 9人 前期 7 その他2	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1 ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	①又は②	
		実 施 し な い					

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別入試の方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接	配点合計	
センター試験	50	*25		*25		200					300	AO 帰国子女 外国人
個別学力検査等						100	200				300	追加合格 欠員補充
計	50	*25		*25		300	200				600	
センター試験	50	*50				200					300	
個別学力検査等								250		50	300	
計	50	*50				200		250		50	600	
センター試験	50	*25		*25		200					300	AO 帰国子女 外国人
個別学力検査等						100	200			60	360	追加合格 欠員補充
計	50	*25		*25		300	200			60	660	
実 施 し な い												
センター試験	200	100	100	*200	*100	200					900	AO 推薦 外国人
個別学力検査等	*300			*300		300					600	追加合格 欠員補充
計	*500	100	100	*500	*100	500					1500	
センター試験	200	*100		*200	*100	200					800	
個別学力検査等								300			300	
計	200	*100		*200	*100	200		300			1100	
センター試験	200	100	100	*200	*100	200					900	推薦 外国人
個別学力検査等	300										300	追加合格 欠員補充
計	500	100	100	*200	*100	200					1200	
実 施 し な い												
センター試験	200	200	200	*200	*100	200					1100	推薦 外国人
個別学力検査等	*100			*100		100					200	追加合格 欠員補充
計	*300	200	200	*300	*100	300					1300	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人
個別学力検査等				400		200					600	追加合格 欠員補充
計	200	*100		600	200	400					1500	
実 施 し な い												

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等	
教育学部 学校教育 教員養成 課程 中学校教育コース 理科専攻 10人 前期 7 その他 3	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	理 外	「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	
		公民 数 理 外	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 (注1) 教Ⅰ, 数Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ, 数Ⅱ・教Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]			
後期 実 施 し な い						
中学校教育コース 音楽専攻 5人 前期 4 その他 1	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(音楽)	
		公民 数 理 外	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 (注1) 教Ⅰ, 数Ⅰ・教A, 教Ⅱ, 数Ⅱ・教B, 簿, 情報から1(注9)(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]又は[5教科6科目]			
後期 実 施 し な い						
中学校教育コース 美術専攻 5人 前期 4 その他 1	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(美術)	
		公民 数 理 外	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 (注1) 教Ⅰ, 数Ⅰ・教A, 教Ⅱ, 数Ⅱ・教B, 簿, 情報から1(注9)(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]又は[5教科6科目]			
後期 実 施 し な い						
中学校教育コース 保健体育専攻 7人 前期 5 その他 2	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3)	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(保健体育)	
		公民 理 数 外	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 教Ⅰ, 数Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ, 数Ⅱ・教Bから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[6教科7科目]			
後期 実 施 し な い						
中学校教育コース 技術専攻 5人 前期 3 その他 2	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	教 理 外 その他	教Ⅰ・教Ⅱ・教A・教B } から1 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」 } から1 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」 } (注12) コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接(簡単なものづくりを含む。)	
		公民 数 理 外	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 (注1) 教Ⅰ, 数Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ, 数Ⅱ・教B, 情報から1(注18) ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1 } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]			
後期 実 施 し な い						
中学校教育コース 家庭専攻 5人 前期 3 その他 2	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3)	その他	小論文	
		公民 理 数 外	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 教Ⅰ, 数Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ, 数Ⅱ・教Bから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[6教科7科目]			
後期 実 施 し な い						
中学校教育コース 英語専攻 8人 前期 6 その他 2	前期 2月25日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 教Ⅰ, 数Ⅰ・教A, 教Ⅱ, 数Ⅱ・教B, 簿, 情報から1又は2(注18) } から3(注7)	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
		公民 数 理 外	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]			
後期 実 施 し な い						

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等					400	200					600	
計	200	*100		200	600	400					1500	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		100	100	200					700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100			600		700	
計	200	*100		100	100	300			600		1400	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		100	100	200					700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100			600		700	
計	200	*100		100	100	300			600		1400	
実 施 し な い												
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200							
個別学力検査等						100			600		700	
計	200	*200		200	*100	300			600		1600	
		*100			*200							
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*150	*150	150				300	600	
計	200	*100		*350	*350	350				300	1500	
実 施 し な い												
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200							
個別学力検査等								300			300	
計	200	*200		200	*100	200		300			1200	
		*100			*200							
実 施 し な い												
センター試験	200	100	100	*200	*100	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
				*100	*200							
個別学力検査等						600					600	
計	200	100	100	*200	*100	800					1500	
				*100	*200							
実 施 し な い												

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階選抜		
		教科	科目名	教科等	科目名等			
教育学部 学校教育 教員養成 課程	幼稚園 教育 コース 30人 前期15 AO 10 その他5	芸術的感性開 発専攻	前期	実 施 し な い (AO入試と推薦入試で募集する。)				
			後期	実 施 し な い				
	こども保育専攻	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	から1(注11)	
		後期	実 施 し な い					
特別支援教育コース 15人 前期 7 後期 3 AO 1 その他 4		前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	から1(注11)	
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2(注18) } から3(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]	その他	小論文		
経済学部 昼間 コース 325人 前期 190 後期 40 AO 5 その他 90	総合経済学科 265人 前期 190 後期 40 AO 5 その他 30	前期	国 数 外 地歴 公民 理 外	国 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1(注18) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 公民及び理科については, 【a】又は【b】(注10) 【a】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 【b】 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理, 化学, 生物, 地学から2 [5教科7科目]又は[5教科8科目]又は[6教科7科目]又は[6教科8科目]	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1(注18) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]	その他	小論文		
夜間主 コース	総合経済学科 60人	前期	実 施 し な い (社会人入試で募集する。)					
		後期	実 施 し な い (社会人入試で募集する。)					

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												特別入試の方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接	配点合計	
実施しない (AO入試と推薦入試で募集する。)												AO 推薦 外国人 追加合格 欠員補充
センター試験	200	100	100	*200 *100	*100 *200	200					900	
個別学力検査等	*300			*300		300					600	
計	*500	100	100	*500 *400	*100 *200	500					1500	
実施しない												
センター試験	200	100	100	*200 *100	*100 *200	200					900	
個別学力検査等	*300			*300		300					600	
計	*500	100	100	*500 *400	*100 *200	500					1500	
センター試験	200		*100	*200 *100	*100 *200	200					800	
個別学力検査等								300			300	
計	200		*100	*200 *100	*100 *200	200		300			1100	
センター試験	配点a	100	*100	100	50	100					450	
	配点b	100	*50	100	100	100					450	
個別学力検査等 (注15)	配点c			150		150					300	
	配点d			200 100		100 200					300 300	
計	配点A (注16)	配点a-c	100	*100	250	50	250				750	
		配点b-c		*50		100						
	配点B (注16)	配点a-d	100	*100	300 200	50	200 300					
		配点b-d		*50	300 200	100	200 300					
センター試験	100		*50	100	50	100				400		
個別学力検査等								200		200		
計	100		*50	100	50	100		200		600		
実施しない (社会人入試で募集する。)												社会人 追加合格 欠員補充

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名			個別学力検査等		2段階 選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等		
医学部 222人 前期 144 後期 20 その他 58	医学科 116人 前期 76 その他 40	前期 2月25日・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外 その他	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から2 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II 面接	約5倍
		後期	実 施 し ない				
	保健学科 106人 看護学専攻 70人 前期 48 後期 10 その他 12 理学療法学 専攻 18人 前期 10 後期 5 その他 3 作業療法学 専攻 18人 前期 10 後期 5 その他 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外	コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	その他	小論文, 面接	
歯学部 歯学科 50人 前期 33 後期 7 AO 10		前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・ 英語表現I・英語表現II } から1 (注13)	
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から1(注2) 英, 独, 仏から1 [3教科4科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を 主体とした試験) 面接	
薬学部 80人 前期 51 後期 25 AO 4	薬学科 40人 前期 30 後期 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を 主体とした試験)	
	薬科学科 40人 前期 21 後期 15 AO 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を 主体とした試験)	

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	100	*50		100	100	100					450	推薦 外国人
個別学力検査等				250	250	200				60	760	追加合格 欠員補充
計	100	*50		350	350	300				60	1210	
実施しない												
センター試験	200	*100		200	100	200					800	推薦 社会人 外国人
個別学力検査等						200					200	追加合格 欠員補充
計	200	*100		200	100	400					1000	
センター試験	200	*100		200	100	200					800	
個別学力検査等								300		100	400	
計	200	*100		200	100	200		300		100	1200	
センター試験	200	*100		200	200	200					900	AO 外国人
個別学力検査等				*300	*300	*300					300	追加合格 欠員補充
計	200	*100		*500	*500	*500					1200	
センター試験				200	100	200					500	
個別学力検査等							300			段階評価 (注17)	300	
計				200	100	200	300				800	
センター試験	100	*100		200	200	200					800	外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				100	100	100					300	
計	100	*100		300	300	300					1100	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	
センター試験	50	*50		100	100	100					400	AO 外国人
個別学力検査等				100	200	100					400	追加合格 欠員補充
計	50	*50		200	300	200					800	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選 抜	
		教科	科 目 名	教科等	科 目 名 等		
工学部 工学科 380人 前期 263 後期 50 AO 67	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ		
	後期 3月12日	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とした筆記試験)		
環境科学部 環境科学科 130人 前期 80 後期 26 その他 24	選抜方法A (文系受験) 53人 前期 40 後期 13	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]又は[4教科4科目]	その他	面接	
	選抜方法B (理系受験) 53人 前期 40 後期 13	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「化学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ } から2 (注14)	
		後期 3月12日	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]又は[3教科6科目]	その他	面接	
水産学部 水産学科 110人 前期 45 後期 45 AO 5 その他 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1	大学入試センター 試験5教科7科目 又は5教科8科目 の合計点が, 900 点満点中450点以 上の者	
	後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	その他	面接		

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	100	*50		200	200	150					700	AO 帰国子女 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	100					600	
計	100	*50		450	450	250					1300	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	
センター試験	200	*100		200	100	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200					200	
計	200	*100		200	100	400					1000	
センター試験	200	*200				200					600	
個別学力検査等									100		100	
計	200	*200				200			100		700	
センター試験	100	*100		200	200	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*200	*200	*200					400	
計	100	*100		*400	*400	*400					1200	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等									100		100	
計				200	200	200			100		700	
センター試験	**	** (*)		**	**	**					0	AO 推薦 帰国子女 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				125	125						250	
計				125	125						250	
センター試験	100	*50		300	300	250					1000	
個別学力検査等									100		100	
計	100	*50		300	300	250			100		1100	

*** 教科・科目名の表記方法について**

i. 大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略してあります。

教科名		科目名					
略称	正式な教科名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国	国語	国	国語				
地歴	地理歴史	世A	世界史A	世B	世界史B		
		日A	日本史A	日B	日本史B		
公民	公民	現社	現代社会	倫	倫理		
		政経	政治・経済	倫・政経	倫理, 政治・経済		
数	数学	数I	数学I	数I・数A	数学I・数学A		
		数II	数学II	数II・数B	数学II・数学B		
		簿	簿記・会計	情報	情報関係基礎		
理	理科	科目名については略していない。					
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語	仏	フランス語
		中	中国語	韓	韓国語		

ii. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記 i によるほか次のように略してあります。

科目名					
略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
数III	数学III	数A	数学A	数B	数学B

*** 大学入試センター試験の理科について**

教科	グループ	出題科目
理科	①	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」
	②	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注) 「グループ」はそれぞれ独立した試験時間帯であることを示す。

上記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。

- A : 理科①から2科目
- B : 理科②から1科目
- C : 理科①から2科目及び理科②から1科目
- D : 理科②から2科目

なお、受験する科目の選択方法については、大学入試センター試験の出願時に申し出ることになる。

* 「学力検査の実施教科・科目等及び配点」に関する注意事項について

i. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄

- 英語の配点は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を圧縮して利用する。（ただし、水産学部後期日程については圧縮しない。）
- 地歴・公民及び「基礎を付していない」理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
(注2) 理科の「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
(注3) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
(注4) 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
(注5) 理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合
①「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。
②「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
(注6) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。（多文化社会学部）
(注7) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科の第2解答科目は、第1解答科目を採用している場合のみ採用する。
※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。（教育学部）
(注8) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。
※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。（教育学部）
(注9) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。（教育学部）
(注10) 学部が指定したパターン（【a】及び【b】）で高得点となるパターンを採用する。（経済学部）

ii. 「個別学力検査等」欄

- 個別学力検査等において複数教科、科目、科目群等から選択する場合は、出願の際に届け出ること。
(注11) 国語、数学のうち1教科を選択する（2教科とも受験することは不可）。（教育学部）
(注12) 数学と理科の2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する。（教育学部）
(注13) 数学、理科及び外国語の3教科のうち複数教科を受験している場合は、高得点教科を採用する。（歯学部）
(注14) 数学、理科及び外国語の3教科を受験している場合は、高得点の2教科を採用する。（環境科学部）

iii. 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄

- 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。
(注15) 配点cについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のそれぞれの得点を1.5倍し、合計を300点満点とする。
配点dについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のうちいずれか高得点の教科の得点を2倍し、合計を300点満点とする。（経済学部）
(注16) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。（経済学部）
(注17) 面接は点数化せず段階評価を行い、評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び総合問題の成績にかかわらず不合格とすることがある。（歯学部）

iv. 「旧教育課程履修者に対する経過措置」

- (注18) 「工業数理基礎」は、大学入試センター試験の利用科目に記載していないが、平成28年度に限り旧教育課程履修者は選択することができる。

v. 「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」

- 大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。（個別学力検査等の成績のみで判定する。）
配点に**印を付してある教科の得点は、第一段階選抜のみに利用する。
〔国語（200）、地歴・公民（100）、数学（200）、理科（200）、外国語（200）計900点とする。〕

vi. 「その他」

- 本学の入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。

④ 個別学力検査の出題範囲

教科・科目	出題範囲
数 学	学部・学科等が指定する4科目（「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学A」，「数学B（数列・ベクトル）」）又は5科目（「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B（数列・ベクトル）」）を出題範囲とする。
物 理	「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。
化 学	「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。
生 物	「生物基礎」及び「生物」の全てを出題範囲とする。
地 学	「地学基礎」及び「地学」の全てを出題範囲とする。
英 語	学部・学科等が指定する3科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」）又は5科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」）を出題範囲とする。 リスニングテストは実施しない。

⑤ 個別学力検査等における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コースの音楽専攻、美術専攻及び保健体育専攻の志願者には、次の内容についてそれぞれの実技検査を行う。

【音楽専攻：音楽実技（前期日程）】

楽典（必須）並びに声楽及び器楽（選択）

なお、声楽及び器楽の演奏課題に関しては、次のA、B又はCのいずれかで受験すること。

選択区分	演 奏 課 題		提出書類
A 声楽を主とする場合	声楽	イタリア歌曲，ドイツ歌曲，日本歌曲，オペラアリアの中から任意の一曲（暗譜・原語で演奏すること。）	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	
B ピアノを主とする場合	ピアノ	ハイドン，モーツアルト，ベートーベン，ショパン，シューマン，ブラームス，リストより任意の一曲（暗譜のこと。）	伴奏楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	
C 管弦打楽器を主とする場合	管弦打楽器	任意の管弦打楽器による任意の一曲	楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	

注1) 楽譜には必ず氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。

2) 管弦打楽器のうちコントラバスとマリンバ以外は受験者が持参すること。

3) 2月24日（水）の10:00～17:00までの間、学生ピアノ練習室のピアノを開放するので適宜使用してもよい。

【美術専攻：美術実技（前期日程）】

内 容	課 題（石膏像）	受 験 者 が 持 参 す る も の
木炭デッサン	「モリエール」	木炭デッサンに必要な道具一式 （木炭，消し具など）

注1) 木炭紙，カルトン，クリップ，イーゼラー式は大学で準備する。

【保健体育専攻：体育実技（前期日程）】

「陸上競技」，「器械運動」，「球技」，「ダンス」の4領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動		受 験 方 法
陸 上 競 技		全員が受験すること。
器 械 運 動		全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール	①～③の3種目から，2種目選択し，受験すること。
	③ダンス	
ダンス		

注1) 運動のできる服装を用意すること。

2) 専門の用具を使用してもよい。

3) 運動靴は，屋内用と屋外用を用意すること。

(2) アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

アドミッション・オフィス入試の大綱は、次のとおりである。詳細については、7月上旬に発表する「平成28年度長崎大学アドミッション・オフィス入試学生募集要項」を参照すること。

【 多文化社会学部 】

【 AO I 】

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募 集 人 員	グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース	12人
	オランダ特別コース	3人
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT61点以上、TOEFL PBT500点以上、TOEFL ITP500点以上、TOEFL Junior Comprehensive341点以上、TOEIC730点以上、実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS5.5以上、GTEC for STUDENTS700点以上又はGTEC CBT1040点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者(ただし、国際バカロレア資格等については、平成28年3月31日までに取得見込みの者を含む。) 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの <p>注1) 外国語検定試験は、平成26年2月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成26年2月以降に受験した試験とする。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象(TOEFL ITPを除く。)とし、TOEFL Junior Comprehensive(公開テストでないもの)、TOEIC IP及びGTEC for STUDENTS(OFFICIAL SCOREの印字がないもの)は対象としない。</p>	
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、調査書等、個人面接及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接(日本語及び英語による)及び筆記試験(論理的思考力と洞察力(観察力)を問う)※を行う。 配点は個人面接100点、筆記試験100点である。 <p>※参考：筆記試験について、平成27年度入試では模擬授業と映像鑑賞ののち、それについての筆記試験を行った。</p>	
出 願 期 間	平成27年8月31日(月) ～ 平成27年9月4日(金)	
試 験 日	第1次選考(書類選考)	選考結果は平成27年9月25日(金)に本人宛送付する。
	第2次選考(筆記試験・面接(個人))	平成27年10月3日(土)
合 格 者 発 表	平成27年10月21日(水)	
そ の 他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程	
募 集 人 員	小学校教育コース	15 人
	幼稚園教育コース 芸術的感性開発専攻	10 人
	特別支援教育コース	1 人
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を修了した者及び平成 28 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者（ただし、国際バカロレア資格等については、平成 28 年 3 月 31 日までに取得見込みの者を含む。） 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 	
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、課題論文、「自己表現」及び個人面接の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書等により選考を行う。 2. 第 2 次選考 第 1 次選考に合格した者に対して、課題論文、「自己表現」及び個人面接を課し、選考を行う。ただし、幼稚園教育コース芸術的感性開発専攻の「自己表現」は、音楽・美術表現に限る。 	
出 願 期 間	平成 27 年 8 月 31 日（月）～ 平成 27 年 9 月 4 日（金）	
試 験 日	第 1 次選考 （書類選考）	選考結果は平成 27 年 9 月 25 日（金）に本人宛送付する。
	第 2 次選考 （課題論文・面接（個人）等）	平成 27 年 10 月 9 日（金）・10 日（土）
合 格 者 発 表	平成 27 年 10 月 21 日（水）	
そ の 他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	5 人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 26 年 4 月以降に取得した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、課題論文及び個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書等により選考を行う。 2. 第 2 次選考 第 1 次選考に合格した者に対して、読解力、論理的思考力等を問う課題論文を課し、個人面接を行う。 配点は課題論文 50 点、個人面接 50 点である。 	
出願期間	平成 27 年 8 月 31 日（月）～ 平成 27 年 9 月 4 日（金）	
試験日	第 1 次選考 （書類選考）	選考結果は平成 27 年 9 月 25 日（金）に本人宛送付する。
	第 2 次選考 （課題論文・面接（個人））	平成 27 年 10 月 3 日（土）
合格者発表	平成 27 年 10 月 21 日（水）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

実施学部・学科名	歯学部 歯学科	
募 集 人 員	10 人	
出 願 要 件	<p>平成 28 年度大学入試センター試験で歯学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 2. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 4. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 26 年 4 月以降に取得した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 <p>注) AO入試への出願は、入学後は歯学研究コース(大学院の進学を目指す学生を対象とした所定のカリキュラムコースで、第 3 年次から履修する)を履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学する者に限る。</p>	
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、大学入試センター試験の成績、課題論文及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書等により選考を行う。 2. 第 2 次選考 第 1 次選考に合格した者に対して、課題論文及び個人面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて総合評価により選考を行う。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として 70%に満たない場合は選考の対象としない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理, 化学, 生物 から 2</p> <p>外 : 英, 独, 仏 から 1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div>	
出 願 期 間	平成 27 年 11 月 9 日 (月) ～ 平成 27 年 11 月 13 日 (金)	
試 験 日	第 1 次 選 考 (書類選考)	選考結果は平成 27 年 12 月 4 日 (金) に本人宛送付する。
	第 2 次 選 考 (課題論文・面接(個人))	平成 28 年 1 月 22 日 (金)
合 格 者 発 表	平成 28 年 2 月 10 日 (水)	
そ の 他		

実施学部・学科名	薬学部 薬科学科（4年制）	
募集人員	4人	
出願要件	<p>平成28年度大学入試センター試験で薬学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの （本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成26年4月以降に修了した者及び平成28年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成26年4月以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成26年4月以降に取得した者及び平成28年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、大学入試センター試験の成績、総合問題及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、総合問題（高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験）及び面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて総合評価により選考を行う。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として75%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理： 物理、生物から1 化学</p> <p>外： 英、独、仏、中、韓から1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div>	
出願期間	平成27年11月9日（月）～平成27年11月13日（金）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は平成27年12月4日（金）に本人宛送付する。
	第2次選考 （総合問題・面接）	平成28年1月21日（木）
合格者発表	平成28年2月10日（水）	
その他		

実施学部・学科名	工学部 工学科			
募 集 人 員	AO入試 I・A	25人	電気電子工学コース	5人
			情報工学コース	1人
			構造工学コース	5人
			社会環境デザイン工学コース	10人
			化学・物質工学コース	4人
	AO入試 I・B	21人	機械工学コース	6人
			電気電子工学コース	5人
			情報工学コース	3人
			構造工学コース	2人
			社会環境デザイン工学コース	3人
			化学・物質工学コース	2人
出 願 要 件	<p>【AO入試 I・A】 次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 26 年 4 月以降に取得した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの 			
	<p>【AO入試 I・B】 次の各号に該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校の専門教育を主とする学科又は総合学科を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 2. 工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 28 年 3 月までに修得見込みの者（ただし、情報工学コースについては、工業又は情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 28 年 3 月までに修得見込みの者、社会環境デザイン工学コースについては、工業又は農業（土木）に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 28 年 3 月までに修得見込みの者） 			

選 抜 方 法 等

自己推薦書，調査書の評価，適性評価，基礎学力評価等の結果を総合して合格者を決定する。

1. 第1次選考

自己推薦書及び調査書により選考を行う。

自己推薦書では，志望する理由についての記述内容を総合的に評価し，点数化する。

調査書では，①各科目の評定平均値，②出欠の記録，③「指導上参考になる諸事項」または「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動，各種オリンピック，チャレンジ，グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。なお，区分Bの受験者については，③にジュニアマイスター顕彰を含める。

2. 第2次選考

(1) 第1次選考に合格した者に対して，面接で試問を行うとともにコースによっては課題作文を課す。志望動機及び志望コースで学ぶ適性（アドミッション・ポリシーに対する適性）を，分野関心度，基礎知識，論理的思考力，理解力，日本語による表現力，発想の豊かさ等の観点から，総合的に評価する。(※)

(2) 面接での試問（コースによってはペーパーによる小テストを組合せる）で，教科に関する基礎学力や，志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の評定平均値も総合評価の参考にする。

(※)

・配点

適性評価	基礎学力評価
100	100

・合否判定

上記の配点で適性評価と基礎学力評価の合計点を総合して選考する。ただし，上記2項目の合計点が140点以上であることを合格の要件とする。

※ 第2次選考の(1), (2) についての各コースの内容は次表のとおりである。

・適性評価の内容

コース	形態・内容等	評価事項等
機械工学	面接試問と課題作文	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，日本語能力，論理的な発想の豊かさ等を評価。
電気電子工学	面接試問	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。
情報工学	面接試問と課題作文	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価するとともに，課題作文についての質疑応答も評価に加える。 課題作文では，分野関心度，論理的思考力，日本語能力を評価。
構造工学	面接試問	志望動機，分野関心度，日本語能力，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。
社会環境デザイン工学	面接試問と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問う，志望動機及び適性を評価。
化学・物質工学	面接試問と課題作文	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力と作文力（構成力，日本語能力）を評価。

(次ページに続く)

選 抜 方 法 等	・基礎学力評価の内容	
	コース	形態・内容等
	機械工学	面接試問
	電気電子工学	面接試問
	情報工学	面接試問
	構造工学	面接試問
	社会環境デザイン工学	小テスト
化学・物質工学	小テスト(数学・物理・化学・英語)と面接試問	
		評価事項等
		数学・物理・英語の基礎学力。
		数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ)・物理(物理基礎, 物理の「様々な運動」, 「電気と磁気」)・英語(基礎的英単語, 短文和訳)の基礎学力。
		募集区分A: 数学・物理・英語の基礎学力。 募集区分B: 数学・情報関連科目・英語の基礎学力。
		数学・物理(力学)・英語の基礎学力。
		数学・物理(力学)・英語の基礎学力。
		基礎的問題の他, 応用問題も含む。募集区分Bの受験者は, 科目の履修状況を考慮して, 受験上不利にならないよう配慮する。
出 願 期 間	平成27年8月31日(月) ～ 平成27年9月4日(金)	
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は平成27年9月25日(金)に本人宛送付する。
	第2次選考 (適性評価, 基礎学力評価)	平成27年10月8日(木)
合 格 者 発 表	平成27年10月21日(水)	
そ の 他	<p>1. 志願者多数の場合, 第2次選考が10月9日(金)にわたる場合がある。その場合は, 第2次選考の受験票送付時に通知する。</p> <p>2. 入学手続者に対しては, 入学までの期間, 在学する学校長の許諾を得た上で, 入学前教育を行うこととしている。その内容については, 本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。</p>	

実施学部・学科名	工学部 工学科			
募 集 人 員	AO入試Ⅱ	21人	機械工学コース	5人
			電気電子工学コース	2人
			情報工学コース	4人
			構造工学コース	5人
			社会環境デザイン工学コース	2人
			化学・物質工学コース	3人
出 願 要 件	<p>平成28年度大学入試センター試験で工学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成26年4月以降に修了した者及び平成28年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成26年4月以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成26年4月以降に取得した者及び平成28年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 			
選 抜 方 法 等 (次ページに続く)	<p>自己推薦書、調査書、大学入試センター試験の成績及び面接の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書により選考を行う。 自己推薦書では、記述内容を総合的に評価し、点数化する。 調査書では、①各科目の評定平均値、②出欠の記録、③「指導上参考になる諸事項」または「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動、各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。 			

選 抜 方 法 等	<p>2. 第2次選考</p> <p>第1次選考に合格した者に対して、面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて、下記の方法による総合評価（※）により選考を行う。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定4科目（数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B，物理，化学）のうち、得点率が75%以上の科目が2科目以上ある者を選考の対象とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p style="text-align: center;">数：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p style="text-align: center;">理：物理 化学</p> <p style="text-align: right;">[2教科4科目]</p> </div> <p>※ 総合評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接：志望動機，志望コースの分野関心度，アドミッション・ポリシーに対する適性，発想の豊かさ，勉学意欲などについて総合的に評価する。自己推薦書と調査書も総合評価の参考にする。 ・配点 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分，科目</th> <th>数Ⅰ・数A</th> <th>数Ⅱ・数B</th> <th>物理</th> <th>化学</th> <th>面接</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>第2次選考</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・合否判定基準（第2次選考） <p>総合点の高い順に志望コースごとの合格者を決定する。最下位合格点の者が同点で複数いる場合は，その全員を合格とする。</p> <p>ただし，総合点が配点合計500点の60%未満の者は不合格とする。</p>		試験の区分，科目	数Ⅰ・数A	数Ⅱ・数B	物理	化学	面接	配点合計	センター試験	100	100	100	100		400	第2次選考					100	100	計	100	100	100	100	100	500
試験の区分，科目	数Ⅰ・数A	数Ⅱ・数B	物理	化学	面接	配点合計																								
センター試験	100	100	100	100		400																								
第2次選考					100	100																								
計	100	100	100	100	100	500																								
出 願 期 間	平成27年11月9日（月） ～ 平成27年11月13日（金）																													
試 験 日	第 1 次 選 考 （書類選考）	選考結果は平成27年12月4日（金）に本人宛送付する。																												
	第 2 次 選 考 （面接）	平成28年1月26日（火）																												
合 格 者 発 表	平成28年2月10日（水）																													
そ の 他																														

実施学部・学科名	水産学部 水産学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を平成28年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校第3学年を平成28年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び平成28年3月までに修得見込みの者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、小テスト及び面接の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接を行う。 	
出願期間	平成27年8月31日（月）～平成27年9月4日（金）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は平成27年9月25日（金）に本人宛送付する。
	第2次選考 （課題論文・小テスト・面接）	平成27年10月8日（木）・9日（金）
合格者発表	平成27年10月21日（水）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

(3) 推薦入試

推薦入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成28年度長崎大学推薦入試学生募集要項」を参照すること。

【教育学部】

〔推薦Ⅰ〕

(推薦入試A:一般推薦枠)

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程
募集人員	小学校教育コース 35人 中学校教育コース 国語3人, 社会3人, 数学2人, 理科3人, 音楽1人, 美術1人, 保健体育2人, 技術2人, 家庭2人, 英語2人 幼稚園教育コース 5人 特別支援教育コース 4人
出願要件	次のコース・専攻ごとに掲げる各号に該当するもの 1. 小学校教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 地域とともにすすめる初等教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 2. 中学校教育コース 国語専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 国語科教育に対する強い意欲を持ち, かつ中等教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 3. 中学校教育コース 社会専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 社会科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 4. 中学校教育コース 数学専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 数学科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 5. 中学校教育コース 理科専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 理科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 6. 中学校教育コース 音楽専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 音楽教育に対して特に熱意のある者 (3) 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者

出 願 要 件

7. 中学校教育コース 美術専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 美術教育に対して特に熱意のある者
- (3) 人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

8. 中学校教育コース 保健体育専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 保健体育、スポーツ競技に対して特に熱意があり、入学後も自立して競技を続ける意欲のある者
- (3) 学習成績概評がB段階以上に属し、全国大会・コンクール(国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会等)又はブロック大会・コンクール(九州、中国、四国、近畿、関東等の都道府県大会よりも上位の大会を指す)に出場した者
- (4) 教師となる強い意志を持ち、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者

9. 中学校教育コース 技術専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 技術教育に対して特に深い理解と熱意のある者
- (3) 学習成績概評がB段階以上に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

10. 中学校教育コース 家庭専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 家庭科教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評がB段階以上に属し、家庭の評定平均値が 4.0 以上あり、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

11. 中学校教育コース 英語専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 英語科教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

12. 幼稚園教育コース

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 幼児教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

13. 特別支援教育コース

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成 28 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 特別支援教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書及び各コース・専攻が指定する次の検査の成績等を審査し，その結果を総合して合格者を決定する。</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校教育コース</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 国語専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 社会専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 数学専攻</td> <td>【面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 理科専攻</td> <td>【小論文，面接（簡単な操作を含む）】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 音楽専攻</td> <td>【実技検査，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 美術専攻</td> <td>【実技検査，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 保健体育専攻</td> <td>【面接（集団）】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 技術専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 家庭専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース 英語専攻</td> <td>【面接】</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教育コース</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育コース</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> </table>	小学校教育コース	【小論文，面接】	中学校教育コース 国語専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース 社会専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース 数学専攻	【面接】	中学校教育コース 理科専攻	【小論文，面接（簡単な操作を含む）】	中学校教育コース 音楽専攻	【実技検査，面接】	中学校教育コース 美術専攻	【実技検査，面接】	中学校教育コース 保健体育専攻	【面接（集団）】	中学校教育コース 技術専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース 家庭専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース 英語専攻	【面接】	幼稚園教育コース	【小論文，面接】	特別支援教育コース	【小論文，面接】													
小学校教育コース	【小論文，面接】																																							
中学校教育コース 国語専攻	【小論文，面接】																																							
中学校教育コース 社会専攻	【小論文，面接】																																							
中学校教育コース 数学専攻	【面接】																																							
中学校教育コース 理科専攻	【小論文，面接（簡単な操作を含む）】																																							
中学校教育コース 音楽専攻	【実技検査，面接】																																							
中学校教育コース 美術専攻	【実技検査，面接】																																							
中学校教育コース 保健体育専攻	【面接（集団）】																																							
中学校教育コース 技術専攻	【小論文，面接】																																							
中学校教育コース 家庭専攻	【小論文，面接】																																							
中学校教育コース 英語専攻	【面接】																																							
幼稚園教育コース	【小論文，面接】																																							
特別支援教育コース	【小論文，面接】																																							
出 願 期 間	平成 27 年 11 月 2 日（月） ～ 平成 27 年 11 月 6 日（金）																																							
試 験 日	平成 27 年 11 月 19 日（木）																																							
合 格 者 発 表	平成 27 年 12 月 3 日（木）																																							
そ の 他	<p>1. 1 高等学校及び 1 中等教育学校あたりの推薦人員は次のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 小学校教育コース</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(2) 中学校教育コース 国語専攻</td> <td>：</td> <td>2 人以内とする。</td> </tr> <tr> <td>(3) 中学校教育コース 社会専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 中学校教育コース 数学専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 中学校教育コース 理科専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(6) 中学校教育コース 音楽専攻</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(7) 中学校教育コース 美術専攻</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(8) 中学校教育コース 保健体育専攻</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(9) 中学校教育コース 技術専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(10) 中学校教育コース 家庭専攻</td> <td>：</td> <td>2 人以内とする。</td> </tr> <tr> <td>(11) 中学校教育コース 英語専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(12) 幼稚園教育コース</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(13) 特別支援教育コース</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> </table> <p>2. 志願者が多数の場合は，面接が 11 月 20 日(金)にわたることがある。</p>	(1) 小学校教育コース	：	1 人とする。	(2) 中学校教育コース 国語専攻	：	2 人以内とする。	(3) 中学校教育コース 社会専攻	：	1 人とする。	(4) 中学校教育コース 数学専攻	：	1 人とする。	(5) 中学校教育コース 理科専攻	：	1 人とする。	(6) 中学校教育コース 音楽専攻	：	制限しない。	(7) 中学校教育コース 美術専攻	：	制限しない。	(8) 中学校教育コース 保健体育専攻	：	制限しない。	(9) 中学校教育コース 技術専攻	：	1 人とする。	(10) 中学校教育コース 家庭専攻	：	2 人以内とする。	(11) 中学校教育コース 英語専攻	：	1 人とする。	(12) 幼稚園教育コース	：	制限しない。	(13) 特別支援教育コース	：	1 人とする。
(1) 小学校教育コース	：	1 人とする。																																						
(2) 中学校教育コース 国語専攻	：	2 人以内とする。																																						
(3) 中学校教育コース 社会専攻	：	1 人とする。																																						
(4) 中学校教育コース 数学専攻	：	1 人とする。																																						
(5) 中学校教育コース 理科専攻	：	1 人とする。																																						
(6) 中学校教育コース 音楽専攻	：	制限しない。																																						
(7) 中学校教育コース 美術専攻	：	制限しない。																																						
(8) 中学校教育コース 保健体育専攻	：	制限しない。																																						
(9) 中学校教育コース 技術専攻	：	1 人とする。																																						
(10) 中学校教育コース 家庭専攻	：	2 人以内とする。																																						
(11) 中学校教育コース 英語専攻	：	1 人とする。																																						
(12) 幼稚園教育コース	：	制限しない。																																						
(13) 特別支援教育コース	：	1 人とする。																																						

(推薦入試B:離島教育推薦枠)

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程
募 集 人 員	小学校教育コース 5人
出 願 要 件	次に掲げる各号に該当するもの (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者 (2) 離島における教育に強い関心を持ち、卒業後は長崎県内の離島地区小学校において教職に就くことを強く希望する者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、小論文及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出 願 期 間	平成27年11月2日(月) ～ 平成27年11月6日(金)
試 験 日	平成27年11月19日(木)
合 格 者 発 表	平成27年12月 3日(木)
そ の 他	1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 志願者が多数の場合は、面接が11月20日(金)にわたることがある。

(推薦入試A:商業系等)

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (昼間コース)
募集人員	20人
出願要件	<p>高等学校若しくは中等教育学校の専門教育を主とする学科若しくは総合学科を平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの、又は高等専門学校第3学年を平成28年3月修了見込みの者で、次の1及び3に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 推薦入試Bの出願要件2の各号のいずれにも該当しない者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、小論文(英語の問題を含む。)及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成27年11月2日(月) ～ 平成27年11月6日(金)
試験日	平成27年11月19日(木)
合格者発表	平成27年12月3日(木)
その他	1 高等学校, 1 中等教育学校及び1 高等専門学校あたりの推薦人員は, 3人以内とする。

(推薦入試B:普通科等)

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (昼間コース)								
募集人員	10人								
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 普通科に在籍している者 (2) 国語を主とする学科, 系等に在籍し, 下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) (3) 理数を主とする学科, 系等に在籍し, 下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) (4) 外国語又は国際関係を主とする学科, 系等に在籍し, 下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) (5) 専門教育を主とする学科, 系等(国語, 理数, 外国語又は国際関係を主とする学科, 系等を除く。)又は総合学科に在籍し, 下表の国語, 数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) <table border="1" data-bbox="525 1205 1334 1451" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語総合(又は国語表現), 現代文B, 古典B(又は古典A)</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table> 3. 合格した場合は, 入学することを確約できる者 	教科	科 目	国語	国語総合(又は国語表現), 現代文B, 古典B(又は古典A)	数学	数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B	英語	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ
教科	科 目								
国語	国語総合(又は国語表現), 現代文B, 古典B(又は古典A)								
数学	数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B								
英語	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ								
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し, 高等学校長等から提出された調査書, 推薦書, 小論文(英語の問題を含む。)及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。								
出願期間	平成27年11月2日(月) ~ 平成27年11月6日(金)								
試験日	平成27年11月19日(木)								
合格者発表	平成27年12月3日(木)								
その他	1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は2人以内とする。								

(推薦入試 A : 地域医療枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募集人員	15人												
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者、又は高等学校を卒業見込みの者 2. 地域医療を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 3. 入学後は地域医療枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学及び長崎大学が指定する医療機関等で3年間、臨床研修に従事することを確約できる者 4. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 5. 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ② 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 ③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A 数II・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏 から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数I・数A 数II・数B	理	物理, 化学, 生物から2	外	英, 独, 仏 から1
国	国												
地歴	世B, 日B, 地理B												
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	数I・数A 数II・数B												
理	物理, 化学, 生物から2												
外	英, 独, 仏 から1												
出願期間	平成27年12月14日(月) ～ 平成27年12月18日(金)												
試験日	平成28年1月22日(金)												
合格者発表	平成28年2月10日(水)												
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、推薦入試Bと合わせて4人以内とする。 2. 推薦入試A・Bは、入学希望順位を付して併せて出願することができる。 ただし、第2希望の出願は任意である。 3. 推薦入試Bを第2希望として出願する者は、長崎県の推薦を受けること。 4. 推薦入試C, D, E, Fのいずれとも併願することはできない。 5. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 6. 推薦入試Bによる合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を推薦入試Aの募集人員に加えて選抜する。 												

(推薦入試B：地域医療特別枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																										
募集人員	6人																										
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 長崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者、又は高等学校を卒業見込みの者 2. 地域医療を志し、学習成績概評が(A)又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 3. 長崎県の推薦がある者 4. 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、医学科の地域医療特別枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者(長崎県医学修学資金貸与制度に基づく。) 5. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 6. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																										
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> ① 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ② 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 ③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 5%;">:</td> <td style="width: 40%;">国</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>:</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>:</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>:</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>:</td> <td>物理, 化学, 生物</td> <td></td> <td>から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>:</td> <td>英, 独, 仏</td> <td></td> <td>から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">[5教科7科目]</p> </div>	国	:	国	}	から1	地歴	:	世B, 日B, 地理B	公民	:	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	:	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B			理	:	物理, 化学, 生物		から2	外	:	英, 独, 仏		から1
国	:	国	}	から1																							
地歴	:	世B, 日B, 地理B																									
公民	:	現社, 倫, 政経, 倫・政経																									
数	:	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B																									
理	:	物理, 化学, 生物		から2																							
外	:	英, 独, 仏		から1																							
出願期間	平成27年12月14日(月)～平成27年12月18日(金)																										
試験日	平成28年1月22日(金)																										
合格者発表	平成28年2月10日(水)																										
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、推薦入試Aと合わせて4人以内とする。 2. 推薦入試A・Bは、入学希望順位を付して併せて出願することができる。 ただし、第2希望の出願は任意である。 3. 推薦入試C, D, E, Fのいずれとも併願することはできない。 4. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 5. 推薦入試Bによる合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を推薦入試Aの募集人員に加えて選抜する。 6. 長崎県医学修学資金については、長崎県福祉保健部医療人材対策室(TEL.095-895-2421)まで問い合わせること。 																										

(推薦入試C：佐賀県枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募集人員	2人												
出願要件	<p>佐賀県内の高等学校等を平成28年3月に卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属する者 2. 人物に優れ、佐賀県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3. 入学後は「佐賀県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は、小児科、産科、救急科又は麻酔科の医師として、佐賀県が指定する佐賀県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 4. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 5. 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A 数II・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏 から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">} から1</p> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数I・数A 数II・数B	理	物理, 化学, 生物から2	外	英, 独, 仏 から1
国	国												
地歴	世B, 日B, 地理B												
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	数I・数A 数II・数B												
理	物理, 化学, 生物から2												
外	英, 独, 仏 から1												
出願期間	平成27年12月14日(月) ～ 平成27年12月18日(金)												
試験日	平成28年1月22日(金)												
合格者発表	平成28年2月10日(水)												
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C(宮崎県枠), D, E, Fのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4. 佐賀県医師修学資金については、佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室(TEL. 0952-25-7033)まで問い合わせること。 												

(推薦入試C：宮崎県枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募集人員	2人												
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者、又は高等学校を卒業見込みの者 2. 学習成績概評が㊸又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 3. 宮崎県の推薦がある者 4. 入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は宮崎県が指定する宮崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 5. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 6. 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	物理, 化学, 生物から2	外	英, 独, 仏から1
国	国												
地歴	世B, 日B, 地理B												
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B												
理	物理, 化学, 生物から2												
外	英, 独, 仏から1												
出願期間	平成27年12月14日(月) ～ 平成27年12月18日(金)												
試験日	平成28年1月22日(金)												
合格者発表	平成28年2月10日(水)												
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C(佐賀県枠), D, E, Fのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4. 宮崎県医師修学資金については、宮崎県福祉保健部医療薬務課(TEL.0985-26-7055)まで問い合わせること。 												

(推薦入試D：一般研究医枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																									
募集人員	5人																									
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊶又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 入学後は一般研究医枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(医学系基礎研究分野)に進学し、基礎医学研究に貢献する者 3. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																									
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国</td> <td style="width: 45%;">国</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="width: 30%; vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ・数A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ・数B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏から1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	}	から1	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			数	数Ⅰ・数A			数Ⅱ・数B			理	物理, 化学, 生物から2			外	英, 独, 仏から1		
国	国	}	から1																							
地歴	世B, 日B, 地理B																									
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																									
数	数Ⅰ・数A																									
	数Ⅱ・数B																									
理	物理, 化学, 生物から2																									
外	英, 独, 仏から1																									
出願期間	平成27年12月14日(月) ～ 平成27年12月18日(金)																									
試験日	平成28年1月22日(金)																									
合格者発表	平成28年2月10日(水)																									
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C, E, Fのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 																									

(推薦入試E：熱帯医学研究医枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																		
募集人員	5人																		
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 入学後は熱帯医学研究医枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院歯薬学総合研究科(医学系基礎研究分野)に進学し、熱帯医学の基礎研究に貢献する者 3. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																		
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">：国</td> <td rowspan="4" style="width: 5%;"></td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>：世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>：現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>：数I・数A 数II・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>：物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>：英, 独, 仏から1</td> <td></td> <td>[5教科7科目]</td> </tr> </table> </div>	国	：国		} から1	地歴	：世B, 日B, 地理B	公民	：現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	：数I・数A 数II・数B	理	：物理, 化学, 生物から2			外	：英, 独, 仏から1		[5教科7科目]
国	：国		} から1																
地歴	：世B, 日B, 地理B																		
公民	：現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	：数I・数A 数II・数B																		
理	：物理, 化学, 生物から2																		
外	：英, 独, 仏から1		[5教科7科目]																
出願期間	平成27年12月14日(月) ～ 平成27年12月18日(金)																		
試験日	平成28年1月22日(金)																		
合格者発表	平成28年2月10日(水)																		
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C, D, Fのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民の2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 																		

(推薦入試F：国際保健医療枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																		
募集人員	5人																		
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成26年4月以降に卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 入学後は国際保健医療枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(医学系基礎研究分野)に進学し、国際保健医療、放射線健康科学分野に貢献する者 3. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																		
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">：国</td> <td rowspan="4" style="width: 5%;"></td> <td rowspan="4" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>：世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>：現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>：物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>：英, 独, 仏から1</td> <td></td> <td>[5教科7科目]</td> </tr> </table> </div>	国	：国		} から1	地歴	：世B, 日B, 地理B	公民	：現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	：物理, 化学, 生物から2			外	：英, 独, 仏から1		[5教科7科目]
国	：国		} から1																
地歴	：世B, 日B, 地理B																		
公民	：現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B																		
理	：物理, 化学, 生物から2																		
外	：英, 独, 仏から1		[5教科7科目]																
出願期間	平成27年12月14日(月) ～ 平成27年12月18日(金)																		
試験日	平成28年1月22日(金)																		
合格者発表	平成28年2月10日(水)																		
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校等あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C, D, Eのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民の2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 																		

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 10人 理学療法学専攻 2人 作業療法学専攻 2人
出願要件	高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの 1. 医療技術者を志し、学習成績概評がA段階以上に属し、人物に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成27年11月2日（月）～平成27年11月6日（金）
試験日	平成27年11月19日（木）
合格者発表	平成27年12月3日（木）
その他	1 高等学校及び1 中等教育学校あたりの推薦人員は制限しない。

(推薦入試①：普通科等)

実施学部・学科名	環境科学部 環境科学科					
募 集 人 員	選抜方法 A (文系受験)	6 人				
	選抜方法 B (理系受験)	6 人				
出 願 要 件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成 27 年 3 月以降に卒業した者又は平成 28 年 3 月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境科学を志し、人物、学業に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 大学入試センター試験で、環境科学部が指定した教科・科目を受験する者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者 					
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center; border-right: 1px solid black;">選抜方法 A (文系受験)</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">選抜方法 B (理系受験)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; vertical-align: top;"> <p>国 : 国 地歴 : 世 B, 日 B, 地理 B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 : 数 I, 数 I・数 A から 1 数 II, 数 II・数 B から 1 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 6 科目又は 5 教科 7 科目]</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>国 : 国 地歴 : 世 B, 日 B, 地理 B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 : 数 I・数 A 数 II, 数 II・数 B から 1 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 6 科目又は 5 教科 7 科目]</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div>		選抜方法 A (文系受験)	選抜方法 B (理系受験)	<p>国 : 国 地歴 : 世 B, 日 B, 地理 B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 : 数 I, 数 I・数 A から 1 数 II, 数 II・数 B から 1 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 6 科目又は 5 教科 7 科目]</p>	<p>国 : 国 地歴 : 世 B, 日 B, 地理 B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 : 数 I・数 A 数 II, 数 II・数 B から 1 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 6 科目又は 5 教科 7 科目]</p>
選抜方法 A (文系受験)	選抜方法 B (理系受験)					
<p>国 : 国 地歴 : 世 B, 日 B, 地理 B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 : 数 I, 数 I・数 A から 1 数 II, 数 II・数 B から 1 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 6 科目又は 5 教科 7 科目]</p>	<p>国 : 国 地歴 : 世 B, 日 B, 地理 B 公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 : 数 I・数 A 数 II, 数 II・数 B から 1 理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 外 : 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 [5 教科 6 科目又は 5 教科 7 科目]</p>					
出 願 期 間	平成 27 年 12 月 14 日 (月) ～ 平成 27 年 12 月 18 日 (金)					
試 験 日	平成 28 年 1 月 29 日 (金)					
合 格 者 発 表	平成 28 年 2 月 10 日 (水)					
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1 高等学校及び 1 中等教育学校あたりの推薦人員は、制限しない。 2. 大学入試センター試験において、地歴・公民を 2 科目受験している場合は、第 1 解答科目を採用する。 3. 大学入試センター試験において、理科を学部が指定した科目数より多く受験している場合は、以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「基礎を付した 2 科目」と「基礎を付していない 1 科目」を受験した場合は高得点科目を採用する。 (2) 「基礎を付していない 2 科目」を受験した場合は第 1 解答科目を採用する。 					

(推薦入試②：普通科等以外)

実施学部・学科名	環境科学部 環境科学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校若しくは中等教育学校の専門教育を主とする学科若しくは総合学科を平成28年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境科学を志し、人物、学業に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 大学入試センター試験で、環境科学部が指定した教科・科目を受験する者 3. 在籍する高校(学科)での成績(評定値平均)が最上位の者又はそれに準ずる者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。</p> <p>大学入試センター試験については、下表の科目の中から英語を含む3科目以上を受験すること。ただし、基礎を付した理科学科を含む場合は、英語と基礎を付した理科2科目を含む4科目以上を受験すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>国 : 国</p> <p>地歴 : 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B</p> <p>公民 : 現社, 倫, 政経, 倫・政経</p> <p>数 : 数I, 数I・数A 数II, 数II・数B, 簿, 情報(注)</p> <p>理 : 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学</p> <p>外 : 英</p> </div> <p>受験した全科目の中で合計点が最も高くなるように3科目(基礎を付した理科学科を含む場合は4科目)の成績を採用する。(例: 国, 数I, 物理基礎, 化学基礎)</p>
出願期間	平成27年12月14日(月) ~ 平成27年12月18日(金)
試験日	平成28年1月29日(金)
合格者発表	平成28年2月10日(水)
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校及び1中等教育学校あたりの推薦人員は、制限しない。 2. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 3. 大学入試センター試験において、理科で「基礎を付した2科目」と「基礎を付していない1科目」を選択する際、同一名称(「物理基礎」と「物理」等)を含む科目の組合せで受験している場合は、高得点科目のみ採用する。 4. 大学入試センター試験の地歴・公民及び理科それぞれの第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合に限り採用する。 <p>(注)「工業数理基礎」について、平成28年度に限り旧教育課程履修者は選択することができる。</p>

実施学部・学科名	水産学部 水産学科
募集人員	15人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年を平成28年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がB段階以上に属し、人物が優秀で、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書及び面接（論理的思考能力及び英語能力を問う口述を含む。）の評価を総合して合格者を決定する。</p>
出願期間	平成27年11月2日（月）～平成27年11月6日（金）
試験日	平成27年11月19日（木）
合格者発表	平成27年12月3日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1高等学校、1中等教育学校及び1高等専門学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 本学部では、履修コース制を採用して教育を行っている。志願の際は、長崎大学案内及び水産学部案内を参照すること。 3. 志願者が多数の場合は、面接が11月20日（金）にわたることがある。

*** 推薦入試の実施教科・科目等及び配点**

学部学科等名		大学入試センター試験・学力検査等の配点等															
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	実技検査	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計		
教 育 学 部	小学校教育コース	推薦入試A	センター試験														
			学力検査等							100	120						220
			計							100	120						220
		推薦入試B	センター試験														
			学力検査等								100	120					220
			計								100	120					220
	中学校教育コース	国語専攻	センター試験														
			学力検査等								120	100					220
			計								120	100					220
		社会専攻	センター試験														
			学力検査等									100	120				220
			計									100	120				220
		数学専攻	センター試験														
			学力検査等										300				300
			計										300				300
		理科専攻	センター試験														
			学力検査等									100	120				220
			計									100	120				220
	音楽専攻	センター試験															
		学力検査等										100	300			400	
計											100	300			400		
美術専攻	センター試験																
	学力検査等										300	300			600		
	計										300	300			600		
保健体育専攻	センター試験																
	学力検査等										100				100		
	計										100				100		
技術専攻	センター試験																
	学力検査等										100	100			200		
	計										100	100			200		
家庭専攻	センター試験																
	学力検査等										100	100			200		
	計										100	100			200		
英語専攻	センター試験																
	学力検査等											300			300		
	計											300			300		
幼稚園教育コース	センター試験																
	学力検査等										100	120			220		
	計										100	120			220		
特別支援教育コース	センター試験																
	学力検査等										100	120			220		
	計										100	120			220		

学部学科等名			大学入試センター試験・学力検査等の配点等													
			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	実技検査	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
経済学部	総合経済学科 (昼間コース)	推薦入試A	センター試験													
			学力検査等							80	20					100
			計							80	20					100
		推薦入試B	センター試験													
			学力検査等								80	20				100
			計								80	20				100
医学部	医学科	センター試験	200	*100		200	200	200							900	
		学力検査等								120			80		200	
		計	200	*100		200	200	200		120			80		1100	
	保健学科	センター試験														
		学力検査等								100	100				200	
		計								100	100				200	
環境科学部	環境科学科	推薦①	選抜方法A (文系受験)	センター試験	200	*200		100	100	200					800	
			学力検査等								150			50	200	
			計	200	*200		100	100	200		150			50	1000	
		選抜方法B (理系受験)	センター試験	100	*100		200	200	200						800	
		学力検査等									150			50	200	
		計	100	*100		200	200	200		150			50	1000		
	推薦②	センター試験	*100	*100 *100		*100 *100	*100 *100	100							300	
		学力検査等								100			100	100	300	
		計	*100	*100 *100		*100 *100	*100 *100	100**		100			100	100	600	
	水産学部	水産学科	センター試験													
			学力検査等								150				150	
			計								150				150	

注1) 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

2) 大学入試センター試験の外国語(英語)の配点は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を200点満点に圧縮して利用する。(医学部(医学科)及び環境科学部)

3) **外国語(英語)の受験が必須であるが、受験した全科目のうちの上位3科目の成績を採用するため、配点合計に外国語(英語)の得点が含まれない場合がある。

* 推薦入試における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コースの音楽専攻及び美術専攻の志願者には、次の内容についてそれぞれの実技検査を行う。

【音楽専攻：音楽実技】

楽典（必須）並びに声楽及び器楽（選択）

なお、声楽及び器楽の演奏課題に関しては、次のA、B又はCのいずれかで受験すること。

選択区分	演 奏 課 題		提出書類
A 声楽を主とする場合	声楽	イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラアリアの中から任意の一曲（暗譜・原語で演奏すること。）	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	
B ピアノを主とする場合	ピアノ	ハイドン、モーツァルト、ベートーベン、ショパン、シューマン、ブラームス、リストより任意の一曲（暗譜のこと。）	伴奏楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	
C 管弦打楽器を主とする場合	管弦打楽器	任意の管弦打楽器による任意の一曲	楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	

注1) 楽譜には必ず氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。

2) 管弦打楽器のうちコントラバスとマリンバ以外は受験者が持参すること。

3) 11月18日（水）の10:00～17:00までの間、学生ピアノ練習室のピアノを開放するので適宜使用してもよい。

【美術専攻：美術実技】

内 容	課 題（石膏像）	受 験 者 が 持 参 す る も の
木炭デッサン	「モリエール」	木炭デッサンに必要な道具一式 （木炭、消し具など）

注1) 木炭紙、カルトン、クリップ、イーゼラー式は大学で準備する。

2) 次にあげる自作の作品を面接時に持参すること。（作品・計3点）

各作品の制作証明書を出願書類に添えて提出すること。（計3枚）

・木炭デッサン1点 古代ギリシャ・ローマ等の石膏像デッサンで大きさは木炭紙大・紙質自由

・本人が移動可能な大きさの作品2点

(4) 帰国子女入試

帰国子女入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成28年度長崎大学帰国子女入試学生募集要項」を参照すること。

【 多文化社会学部 】

〔帰国子女〕

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募 集 人 員	グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース	若干人
	オランダ特別コース	若干人
出 願 要 件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT75点以上、TOEFL PBT537点以上、TOEIC750点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上又はIELTS6.0以上のいずれかのスコア・級を有するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育の12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を、平成26年4月1日から平成28年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において、最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けている者に限る。 2. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を原則として2年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、平成28年3月31日までに卒業見込みのもの 3. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を3年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校に入学又は第1学年に編入学した者で、平成28年3月31日までに卒業見込みのもの 4. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成26年度又は平成27年度に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 5. ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成26年度以降に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 6. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの <p>注1) 外国語検定試験は、平成26年2月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定（英検）については、二次試験を平成26年2月以降に受験した試験とする。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし、TOEFL ITP 及びTOEIC IPは対象としない。</p>	
選 抜 方 法 等	提出された書類及び面接（日本語及び英語による）の成績の結果を総合して合格者を決定する。	
出 願 期 間	平成27年11月2日（月）～ 平成27年11月6日（金）	
試 験 日	平成27年11月19日（木）	
合 格 者 発 表	平成27年12月3日（木）	
そ の 他		

実施学部・学科名	<p style="text-align: center;">工学部 工学科 全コース (機械工学, 電気電子工学, 情報工学, 構造工学, 社会環境デザイン工学, 化学・物質工学)</p>
募 集 人 員	各コースとも若干人
出 願 要 件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>1. 12年の学校教育課程を修了又は平成28年3月31日までに修了見込み（最終学年が国内、国外のいずれかにあるかは問わない。）の者で、次の(1)及び(2)の要件を満たしていること。</p> <p>(1) 外国において2年以上継続して日本の高等学校相当の課程の正規の学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けたこと又は受ける見込みであること。</p> <p>(2) 上記(1)の要件を満たしてから2年以内であること。（最終学年が国外の場合、最終学年を平成26年4月1日以降修了又は修了見込みであること、最終学年が国内の場合、最終学年に平成26年4月1日以降在学していること。）</p> <p>2. 次のいずれか一つを平成26年度又は平成27年度に外国において授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達していること。</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、面接試験〔数学及び理科（物理・化学）に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む。〕の成績及び提出された書類の審査の結果を総合して合格者を決定する。</p>
出 願 期 間	平成27年11月2日（月）～ 平成27年11月6日（金）
試 験 日	平成27年11月19日（木）
合 格 者 発 表	平成27年12月3日（木）
そ の 他	

実施学部・学科名	水産学部 水産学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育の12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を、平成26年4月1日から平成28年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において、最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けている者に限る。 2. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を原則として2年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、平成28年3月31日までに卒業見込みのもの 3. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を3年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校に入学又は第1学年に編入学した者で、平成28年3月31日までに卒業見込みのもの 4. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成26年度又は平成27年度に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 5. ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成26年度以降に授与された者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの 6. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、提出された書類の審査及び面接・小論文の成績の結果を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成27年11月2日（月）～ 平成27年11月6日（金）
試験日	平成27年11月19日（木）
合格者発表	平成27年12月3日（木）
その他	

(5) 社会人入試

社会人入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成28年度長崎大学社会人入試学生募集要項」を参照すること。

なお、経済学部においては、11月期及び3月期の複数の受験機会を設ける。

【経済学部】

〔社会人〕

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (夜間主コース)
募集人員	11月期 : 40人 3月期 : 20人
出願要件	次の1又は2に該当する者 1. 現に就業し(就職内定及び就職予定を含む。), 入学後も就業しながら勉学することを確約できる者で, 次のいずれかに該当するもの (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月31日までに卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者で, かつ, 18歳に達するもの 2. 社会人経験(注)を有し, 平成28年3月31日までに, 22歳に達し, 上記1の各号のいずれかに該当する者 注1) 就業しながら, 定時制又は通信制の高等学校(大学の夜間部を含む)に在学した期間を含む。 注2) 家事・家業・パート等の従事期間も含む。
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し, 志望理由書, 推薦書, 履歴書, 就業証明書, 調査書等, 小論文及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出願期間	11月期 : 平成27年10月19日(月) ~ 平成27年10月23日(金) 3月期 : 平成28年2月12日(金) ~ 平成28年2月18日(木)
試験日	11月期 : 平成27年11月7日(土) 3月期 : 平成28年3月5日(土)
合格者発表	11月期 : 平成27年11月25日(水) 3月期 : 平成28年3月18日(金)
その他	

【医 学 部】

〔社会人〕

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 2人 理学療法学専攻 1人 作業療法学専攻 1人
出願要件	<p>次のいずれかに該当する者で、平成28年3月31日までに23歳に達し、社会人経験（注）3年以上を有する者で、合格した場合は必ず本学に入学することが確約でき、卒業後は看護、理学療法、作業療法の分野に就業する意志のある者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 5. 文部科学大臣の指定した者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。） <p>注1) 就業しながら、定時制又は通信制の高等学校（大学の夜間部を含む）に在学した期間を含む。 注2) 家事・家業・パート等の従事期間も含む。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、調査書、履歴書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む。）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成27年10月19日（月）～ 平成27年10月23日（金）
試験日	平成27年11月14日（土）
合格者発表	平成27年11月25日（水）
その他	

(6) 外国人留学生入試

外国人留学生入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成28年度長崎大学外国人留学生入試学生募集要項」を参照すること。

実施学部	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部(昼間コース), 医学部, 歯学部, 薬学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部	
募集人員	環境科学部8人, 他の学部はいずれも若干人	
出願要件	<p>外国人〔日本国籍を有しない者(日本国永住許可を受けている者を除く。)]で, 次の(1)~(4)のいずれかに該当し, 平成26年度又は平成27年度の日本留学試験において各学部が指定する教科・科目を受験したもの。</p> <p>日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等については, 次ページで確認すること。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(平成28年3月修了見込みの者を含む。)で, 平成28年3月31日までに18歳に達するもの又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で, 平成28年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で, 平成28年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で, 平成28年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>【多文化社会学部】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT61点以上, TOEFL PBT500点以上, TOEIC730点以上又はIELTS5.5以上のいずれかのスコアを有すること。 注1) 外国語検定試験は, 平成26年2月以降に受験した試験に限る。 注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし, TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。</p> <p>【経済学部】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT39点以上又はTOEIC385点以上を有すること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p>	
選抜方法等	多文化社会学部 教育学部(小学校教育コース) 教育学部(中学校・国語専攻) 教育学部(中学校・社会専攻) 教育学部(中学校・数学専攻) 教育学部(中学校・理科専攻) 教育学部(中学校・音楽専攻) 教育学部(中学校・美術専攻) 教育学部(中学校・保健体育専攻) 教育学部(中学校・技術専攻) 教育学部(中学校・家庭専攻) 教育学部(中学校・英語専攻) 教育学部(幼稚園教育コース) 教育学部(特別支援教育コース) 経済学部 医学部(医学科) 医学部(保健学科) 歯学部 薬学部 工学部 環境科学部 水産学部	【面接(日本語及び英語による面接)】 【小論文, 面接】 【国語】 【小論文】 【数学】 【理科】 【実技検査(音楽)】 【実技検査(美術)】 【実技検査(体育)】 【面接】 【面接】 【外国語】 【小論文, 面接】 【小論文, 面接】 【小論文, 面接(TOEFL iBT, TOEICのスコアを評価に含む。)] 【数学, 理科, 外国語, 面接】 【外国語, 面接】 【(数学, 理科, 外国語から1), 面接】 【数学, 理科, 外国語, 面接】 【面接】 【小論文, 面接】 【面接】
出願期間	【平成27年11月20日(金)～平成27年11月27日(金)】	
試験日	多文化社会学部, 工学部, 環境科学部 経済学部, 水産学部 教育学部, 歯学部, 薬学部 医学部	【平成28年1月27日(水)】 【平成28年1月29日(金)】 【平成28年2月25日(木)】※ 【平成28年2月25日(木)・26日(金)】
合格者発表	多文化社会学部, 経済学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部【平成28年2月10日(水)】 教育学部, 医学部, 歯学部, 薬学部【平成28年3月8日(火)】	

注) 日本の高等学校等を卒業した者は, この募集要項による選抜には該当しない。

不明な点がある場合は, 長崎大学学生支援部入試課(095-819-2111)まで問い合わせること。

※ 教育学部中学校教育コース技術専攻は平成28年2月26日(金)に実施する。

* 日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等

学 部 ・ 課 程 等		出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	外国語(英語)試験の対応	
多文化社会学部		日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	英語能力は、面接の中でみる。	
		総合科目	日本語・英語のどちらでも良い			
		数 学 コース1	日本語・英語のどちらでも良い			
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 中学校教育コース 〔国語, 社会, 音楽, 美術, 保健体育, 英語の各専攻〕 幼稚園教育コース 特別支援教育コース	日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	原則として外国語(英語)の試験を課さないが、英語専攻を希望する者には、TOEFL等の試験の成績の提示を求める。	
		総合科目	日本語			
		数 学 コース1	日本語			
	中学校教育コース 〔数学, 理科, 技術, 家庭の各専攻〕	日本語	日本語のみ			
		理 科 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 } から2	日本語			
		数 学 コース2	日本語			
		日本語	日本語のみ			
経済学部		日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績(ただし、日本語の満点(記述を除く)の400点を200点に換算したうえで、3教科合計の満点の600点を100点に換算する。)		
		総合科目	日本語			
		数 学 コース1	日本語			
医 学 部	医学科	日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績		
		理 科 「化学」, 「生物」	英 語			
		数 学 コース2	英 語			
	保健学科	日本語	日本語のみ			
理 科 「化学」 〔生物〕 } から1		英 語				
歯 学 部		日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績		
		理 科 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 } から2	日本語・英語のどちらでも良い			
		数 学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
薬 学 部		日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績		
		理 科 〔化学〕 〔物理〕 〔生物〕 } から1	日本語・英語のどちらでも良い			
		数 学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
工 学 部		日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	英語能力は、面接の中でみる。	
		理 科 「物理」, 「化学」	日本語・英語のどちらでも良い			
		数 学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
環境科学部		文系受験	日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	英語能力は、面接の中でみる。 入学後は、英語の講義を必修科目として受講する必要がある。
			総合科目	日本語		
			数 学 コース1又はコース2	日本語		
		理系受験	日本語	日本語のみ		
			理 科 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 } から2	日本語		
			数 学 コース1又はコース2	日本語		
水 産 学 部		日本語	日本語のみ	平成26年6月若しくは11月又は平成27年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	英語能力は、面接の中でみる。	
		理 科 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 } から2	日本語			
		数 学 コース1又はコース2	日本語			

5. 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、本学学生支援部入試課に相談してください。

入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはありません。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともあります。

* 申請書の内容（志願者の住所・氏名・連絡先電話番号・FAX番号を明記してください。）

- | | |
|--------------------|------------------|
| ア. 志願学部・学科（コース・専攻） | イ. 障害の種類・程度 |
| ウ. 受験上の配慮を希望する事項 | エ. 修学上の配慮を希望する事項 |
| オ. 出身学校等でとられていた配慮 | カ. 日常生活の状況 |

☆ 本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障害等のある学生及び障害等のある入学志願者への支援を行っています。

6. 学生宿舎への入居（多文化社会学部へ入学する者）

多文化社会学部に入学する学生は、原則、入学時から1年間、大学キャンパス外でも多文化状況に触れることを目的とした学生宿舎「国際学寮ホルテンシア」に全員入居し、外国人留学生とのルームシェアによる共同生活を行います。

学生宿舎の概要は、次のとおりである。

なお、防犯対策として、各ユニットの玄関にカードキー対応ドアを、各個室に暗証番号対応ドアを装備しています。

宿舎名称	国際学寮ホルテンシア
所在地	A棟：長崎市白鳥町8-77 B棟：長崎市白鳥町8-78 (大学まで徒歩12分程度)
収容人数	135人（A棟72人・B棟63人） 1ユニット4人（外国人留学生1人を含む。）のルームシェア形式 (ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)
入居費用	月額： <u>22,000円</u> （ただし、水道光熱費は別途自己負担） ※ 退去時のクリーニング費用として10,000円（入居時に徴収） ※ 上記のほか、借家人賠償責任保険等の加入が必要（入居時のみ）
共用施設	集会室，駐輪場，中庭，ゴミ置き場
個室部分の設備 (洋室4.5帖)	机，椅子，電気スタンド，エアコン，ベッド（収納庫（ベッド下）及びマットレス付き），光回線インターネット，TV端子，照明，暗証番号対応ドア
ユニット内の設備 (DK8.2帖)	シャワーブース，トイレ，洗面台，システムキッチン，ダイニングセット（テーブル，椅子），冷蔵庫，食器棚，電子オーブンレンジ，洗濯乾燥機，衣類乾燥機，掃除機，炊飯器，エアコン，カードキー対応玄関ドア等
食事	食事の提供なし（各ユニットのキッチンで自炊可能）

詳しくは、長崎大学多文化社会学部ホームページをご覧ください。



<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>

問い合わせ先：長崎大学学生支援センター（学生支援課生活支援班） ☎ 095-819-2103

7. 募集要項の発表時期及び請求方法

(1) 募集要項の発表時期

募集人員，出願期日，個別学力検査等の実施日程，その他必要な事項を記載した学生募集要項は，次のとおり発表する予定です。

- AO入試学生募集要項 7月上旬
- 推薦入試，帰国子女入試，社会人入試，外国人留学生入試学生募集要項 9月上旬
- 一般入試学生募集要項 11月下旬

(2) 募集要項の請求方法

① 長崎大学入試課窓口で受け取る方法

長崎大学入試課窓口（長崎市文教町1-14：長崎大学正門を入れてすぐ右手の建物の1階）において無料で配付しております。（平日 8:45～17:30，土・日・祝日を除く。）

② 長崎大学ホームページから請求する方法

長崎大学ホームページから  テレメールまたは大学情報センター「モバっちょ」を利用して募集要項を請求できます。

詳しくは，長崎大学ホームページ（入試情報サイト）をご覧ください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/contact/index.html>

③ テレメールで請求する方法

インターネット（パソコン・スマホ・ケータイ）または自動音声応答電話で資料を請求することができます。

i 下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	http://telemail.jp	バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。	
自動音声応答電話	<p>IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)</p> <p>※IP電話への通話料金は，一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話ください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。</p>		

ii 資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
「一般入試学生募集要項」	587602	300円
「AO入試学生募集要項」	587612	300円
「推薦入試学生募集要項」	587622	300円
「社会人入試学生募集要項」	588862	300円
「外国人留学生入試学生募集要項」	587632	215円

※上記学生募集要項のほか大学案内等の資料もあります。

iii あとはガイダンスに従って登録してください。

注1) テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。

2) 資料は請求してから2～3日後に資料が届きます。ただし，受付時間や地域，配達事情によっては，4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合には，テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。なお，発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

3) 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後一週間以内に表示料金をお支払いください。なお，支払い手数料が別途必要です。（コンビニ払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円，窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。）また，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

4) 一般募集要項は，自動音声応答電話による請求を除き，通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応（レターパック）で請求受付を行います。速達対応の料金は，上記iiに記載の料金とは金額が異なります。詳しくはテレメールの資料請求画面でご確認ください。

【通常期限】平成28年1月28日（木）正午まで 【速達対応受付期限】平成28年1月31日（日）正午まで

※ テレメールでの請求方法についてのお問合せは
 テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）

④ 大学情報センター「モバっちょ」で請求する場合

パソコン，スマートフォン，携帯電話のいずれかで下記にアクセスし，画面の案内に従って請求してください。お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

<http://djc-mb.jp/nagasaki-u3/>



※ 料金は，大学案内：200円，学生募集要項（各種）：200円，大学案内＋学生募集要項：250円です。

※ お支払い方法は，i 携帯払い，スマホ払い，クレジットカード払い（支払手数料は別途50円必要），ii コンビニ後払い（支払手数料は別途126円必要）の2種類から選択できます。

※ 携帯電話・スマートフォンから請求した場合，お使いの機種や携帯電話会社との契約状況によっては通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合はコンビニ後払いを選択してください。

※ 上記④の請求方法についてのお問合せは
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

⑤ 郵送により請求する方法

郵送による場合は，郵便番号，住所，氏名を明記した返信用封筒（角形2号封筒）に送料分の切手〔一般，AO，推薦及び社会人は400円分，帰国子女，外国人留学生は250円分の切手〕を貼付したものを同封し，次ページの請求先へ請求してください。

なお，請求する封筒の表に募集要項の名称（「〇〇入試学生募集要項請求」）を朱書きしてください。

⑥ 宅急便（送料着払い）により請求する方法

下記連絡先へ電話連絡の上，希望資料名・部数・送付先・送付先電話番号をFAXでお知らせください。

料金は，送付部数や送付先で異なりますが，おおよそ1,000円程度となります。

※ 上記⑤，⑥の請求先及び連絡先は
〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学学生支援部入試課
TEL. 095-819-2111 FAX. 095-819-2112

8. 入試情報の提供

(1) 個人成績の提供

本学では、平成28年度入学試験（一般入試・推薦入試・社会人入試・帰国子女入試・外国人留学生入試）の個人成績を受験者本人からの郵便又は窓口での請求により提供します。

ただし、AO入試に係る個人成績については提供できません。

○請求期間：平成28年6月1日（水）～平成28年6月30日（木）まで（予定）
（受付時間は土、日、祝日を除く9：00から16：00まで）

○請求者：受験者本人に限ります。

○請求方法：郵送又は来学のうえ、所定の用紙により申し込みください。

申し込みの際は、本学の受験票が必要となります。

○提供内容：①大学入試センター試験の教科ごとの得点
（本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数）
②本学が実施する学力・実技等検査の得点
③①+②の総得点及び順位

(2) 正解・解答例等の提供

正解・解答例又は出題の意図（一般入試）については、当該日程の全試験終了後、本学が指定した日時に提供する。

(3) 採点・評価基準の提供

採点・評価基準については、本要項の〔一般入試 P78～P80、推薦入試 P81～P83、社会人入試 P83、外国人留学生入試 P84～P85〕に記載している。

(4) 合否判定基準の提供

合否判定基準については、本要項の〔一般入試 P86～P87、推薦入試 P88～P89、社会人入試 P89、外国人留学生入試 P90〕に記載している。

採点・評価基準〔一般入試（個別学力検査等）〕

〔前期日程〕

学部名・教科名			採 点 ・ 評 価 基 準
共通問題	数 学		数学の基礎を理解し、応用する力を量る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。
	理 科	物 理	物理現象に関する思考力・考察力・表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
		化 学	基礎的な学習の到達度とともに、科学的な思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
		生 物	解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
		地 学	自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。
	外 国 語		読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。
多文化社会学部	批判的・論理的思考力テスト (総合問題)		批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。
	面接 (オランダ特別コースのみ)		複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し、意欲・積極性及び語学力(英語)を評価する。
教育学部	学校教育コース	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力、さらには言語生活への関心のありようをみる。
		国語専攻	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力、さらには言語生活への関心のありようをみる。
	中学校教育コース	社会専攻	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力、さらには言語生活への関心のありようをみる。
		音楽専攻	楽典に関する知識とその応用力を評価する。 声楽と器楽の基礎的な技能と表現力が備わっているかを評価する。
		美術専攻	実技検査 (美術) 木炭デッサンの基礎的な表現力をみる。

学部名・教科名			採点・評価基準	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	中学校教育 保健体育専攻	実技検査 (体育)	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能をみる。
		技術専攻	面接	中学校技術・家庭(技術分野)のものづくりについての理解力や構想・表現力を評価する。 また、技術の教員を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		家庭専攻	小論文	課題に対する理解力, 考察力, 論理的思考力及び記述力等を評価する。
		幼稚園教育コース こども保育専攻	国語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力, さらには言語生活への関心のありようをみる。
		特別支援教育コース	国語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力, さらには言語生活への関心のありようをみる。
医学部	医学科	面接		面接は個人面接。 面接の評価項目は, 次のとおりとする。 ①応用力(問題解決力) ②意欲(積極性) ③協調性 ④総合能力

[後期日程]

学部名・教科名			採点・評価基準	
多文化 社会学部	小論文		課題に対する理解, 批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。	
	面接		複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し, 意欲・積極性及び語学力(英語)を評価する。 調査書は, 面接の評価の中で考慮する。	
教育学部	学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース	小論文	課題に対する理解力, 考察力, 論理的思考力及び記述力等を評価する。
		特別支援教育コース	小論文	課題に対する理解力, 考察力, 論理的思考力及び記述力等を評価する。

学部名・教科名		採点・評価基準
経済学部	小論文	基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。
医学部	保健学科 小論文・面接	小論文では，論理的思考力，基礎的学力，論文構成力等をみる。 面接では，個人面接を実施し，志望動機，勉学意欲，コミュニケーション能力，社会的関心等から医療技術者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
歯学部	総合問題・面接	総合問題は，理解力，判断力，論理的思考力，表現力等をみる。日本語，英語による教科横断的問題で，成績を点数評価する。 面接は，集団面接を行い，歯学，歯科医療に対する資質や適性等を総合的に判断する。点数化せず，段階評価する。
薬学部	総合問題	高等学校の学習一般を前提とし，筆記を主体とした試験であり，考察力，論理的思考力，理解力，記述力，表現力等を総合的に問う。
工学部	総合問題	高等学校の学習一般（数学，物理，化学）を前提とした筆記試験であり，数学（基本的な計算問題を主とする）2問，物理2問，化学2問の計6問からその場で任意の4問を選択する方式とし，成績を点数評価する。 ・出題範囲 数学：数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ。 物理：「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。 化学：「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。 ・成績評価 本学工学部で学ぶ資質や適性を基礎学力で問う。
環境科学部	面接	環境への関心度，志望動機，意欲・積極性，社会的関心，思考力等から総合的に判断し，評価する。
水産学部	面接	面接は，志望動機，学部への関心，将来展望，高校生活等についての質疑応答から，入学への関心度，学力素養について総合的に評価する。各面接員の評価を平均して点数化する。 調査書は，面接の評価の中で考慮する。

採点・評価基準〔推薦入試〕

学 部 名 ・ 教 科 名		採 点 ・ 評 価 基 準		
教 育 学 部 中 学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス	推 薦 入 試 A	小 論 文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力等を評価する。
			面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，地域とともにすすめる初等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		推 薦 入 試 B	小 論 文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力等を評価する。
			面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，離島における教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	中 学 校 教 育 コ ー ス	国 語 専 攻	小 論 文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力等を評価する。
			面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，国語科の中等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		社 会 専 攻	小 論 文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力等を評価する。
			面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，社会科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて地理・歴史科，公民科の基礎知識を口頭試問し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		数 学 専 攻	面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，数学科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて数学の教科に関する知識，理解力，数理的思考能力等を口頭試問し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		理 科 専 攻	小 論 文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力等を評価する。
			面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，理科の中等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて理科の教科に関する知識と能力を口頭試問（観察，実験に関する簡単な操作を含む）し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		音 楽 専 攻	実技検査 (音楽)	楽典に関する知識とその応用力を評価する。 声楽と器楽の基礎的な技能と表現力が備わっているかを評価する。
			面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，音楽教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		美 術 専 攻	実技検査 (美術)	木炭デッサンの基礎的な表現力をみる。
	面 接		調査書，志望理由書，推薦書，持参作品等の出願書類を参考に，美術教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
	保 健 体 育 専 攻	面接(集団)	テーマを課した集団面接により，保健体育，スポーツ競技に対する熱意，意欲等を評価し，教師となる意志，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
	技 術 専 攻	小 論 文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力等を評価する。	
		面 接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，技術教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて科学技術に関する知識を口頭試問し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	

学 部 名 ・ 教 科 名			採 点 ・ 評 価 基 準	
教育学部・学校教育教員養成課程	中学校教育コース	家庭専攻	小論文	課題に対する理解力, 考察力, 論理的思考力及び記述力等を評価する。
			面接	調査書, 志望理由書, 推薦書等の出願書類を参考に, 家庭科教育に関する熱意, 意欲, 目的意識等を評価し, あわせて家庭の教科に関する知識を口頭試問し, 教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	幼稚園教育コース	英語専攻	面接	調査書, 志望理由書, 推薦書等の出願書類を参考に, 英語科教育に関する熱意, 意欲, 目的意識等を評価し, あわせて英語による簡単な問答と基本的な英文読解力についての口頭試問を行い, 教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
			小論文	課題に対する理解力, 考察力, 論理的思考力及び記述力等を評価する。
	特別支援教育コース		面接	調査書, 志望理由書, 推薦書等の出願書類を参考に, 幼児教育に関する問題意識, コミュニケーション能力, 表現活動に対する体験や関心等から, 教育者を目指すにあたっての適性を総合的に判断する。
			小論文	課題に対する理解力, 考察力, 論理的思考力及び記述力等を評価する。
経済学部	推薦入試 A	(1) 小論文 (英語の問題を含む。) 英語を含む基礎的知識, 読解力, 分析力, 構想力, 独創性, 論理性, 表現力等を評価する。 (2) 面接 調査書, 推薦書等の出願書類を参考に意欲, 目的意識, 表現力等を評価する。		
	推薦入試 B	(1) 小論文 (英語の問題を含む。) 英語を含む基礎的知識, 読解力, 分析力, 構想力, 独創性, 論理性, 表現力等を評価する。 (2) 面接 調査書, 推薦書等の出願書類を参考に意欲, 目的意識, 表現力等を評価する。		
医学部	医学科	(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項, 推薦書並びに志望理由書を点数化する。 (2) 面接 面接は個人面接。 面接の評価項目は, 次のとおりとする。 ①応用力 (問題解決力) ②意欲 (積極性) ③協調性 ④総合能力		
	保健学科	(1) 小論文 (英語の問題を含む。) 英語を含む基礎的学力, 論理的思考力, 論文構成力等をみる。 (2) 面接 志望動機, 勉学意欲, 将来展望, 社会的関心等の他, 提示された課題についてグループ討議を行い, 医療技術者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。		

学部名		採 点 ・ 評 価 基 準
環 境 科 学 部	推薦入試Ⅰ①	面接では、環境への関心度、志望動機、意欲・積極性、社会的関心、思考力等から総合的に判断し評価する。 評価（調査書を含む。）は点数化する。
	推薦入試Ⅱ②	面接では、環境への関心度、志望動機、意欲・積極性、社会的関心、思考力等から総合的に判断し評価する。 評価（調査書及び志望理由書を含む。）は点数化する。
水 産 学 部	水産学科	志望動機、学部への関心、将来展望、高校生活等について質疑応答及び学力素養に関わる口頭による試問を行い、入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。 調査書は、面接の評価の中で考慮する。

採点・評価基準〔社会人入試〕

学部名・教科名		採 点 ・ 評 価 基 準
経 済 学 部	小 論 文	基礎的知識、読解力、分析力、構想力、独創性、論理性、表現力等を評価する。 配点 80 点。
	面 接	調査書、志望理由書、推薦書、履歴書、就業証明書など出願書類を参考に意欲、目的意識、表現力等を評価する。配点 20 点。
医 学 部	小 論 文 (英語の問題を含む。)	論理的思考力、基礎的学力、論文構成力等をみる。配点 100 点。
	面 接	個人面接を実施し、社会人経験、志望動機、勉学意欲、将来展望等から医療技術者としての適性を総合的に判断する。配点 100 点。

採点・評価基準〔外国人留学生入試〕

学部名・教科名		採点・評価基準		
多文化社会学部		面接	<p>複数の面接員による個人面接を行う。</p> <p>日本語及び英語により実施し、提出された書類（TOEFL等の成績、日本留学試験の成績通知書等）を参考に、日本語運用能力並びに志望動機、勉学意欲、思考力、英語能力等を総合的に判断する。</p>	
学 校 教 育 教 員 学 部 課 程	小学校教育コース	小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する。	
		面接	志望理由、学習・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	
	国語専攻	国語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力、さらには言語生活への関心のありようをみる。	
	社会専攻	小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価する。	
	数学専攻	数学	<p>数学の基礎を理解し、応用する力を量る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。</p>	
	理科専攻	理 科	物理	物理学についての思考力、考察力、発想力及び表現力などを総合的に評価する。
			化学	化学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に評価する。
			生物	生物学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に評価する。
			地学	地学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に評価する。
	音楽専攻	実技検査 (音楽)	<p>楽典に関する知識とその応用力を評価する。</p> <p>声楽と器楽の基礎的な技能と表現力が備わっているかを評価する。</p>	
	美術専攻	実技検査 (美術)	木炭デッサンの基礎的な表現力をみる。	
	保健体育専攻	実技検査 (体育)	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能をみる。	
	技術専攻	面接	<p>中学校技術・家庭（技術分野）のものづくりについての理解力や構想・表現力を評価する。</p> <p>また、技術の教員を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。</p>	
	家庭専攻	面接	家庭科に関する基礎的知識と実践力及び学習・研究意欲等を総合的に評価する。	
英語専攻	外国語	読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。		

学部名・教科名			採点・評価基準
教育学部	学校教育教員養成課程 幼稚園教育コース	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力を評価する。
		面接	志望理由，学習・研究意欲，基礎的知識を中心に評価する。
	特別支援教育コース	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力及び記述力を評価する。
		面接	志望理由，学習・研究意欲，基礎的知識を中心に評価する。
経済学部	小論文		基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。
	面接		修了（見込）証明書，成績証明書，日本留学試験の成績通知書の写し，TOEFL(iBT)又は TOEIC のスコア等を参考にしながら，意欲，目的意識，表現力等を評価する。
医学部 (医学科)	面接		面接は，個人面接とし，評価は段階評価する。
医学部 (保健学科)	面接		面接は，個人面接で評価は点数化する。
歯学部	面接		面接は，個人面接とし，評価は段階評価する。
薬学部	面接		面接は，複数の面接員が行い，薬学に対する志望動機及び理由，論理性，意欲，科学的知識，適性等を総合的に5段階評価（5～1）して採点する。
工学部	面接		面接（複数の面接担当者による個人面接を行う。）では英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
環境科学部	小論文		課題に対する理解力，考察力等並びに日本語による記述力，表現力等を評価し点数化する。
	面接		日本語の会話能力並びに志望動機，勉学意欲，思考力，英語能力等を総合的に判断する。点数表示せず，段階評価する。
水産学部	面接		複数の面接員による個人面接を行う。提出された書類（日本留学試験の成績通知書等）を参考に，志望動機，学部への関心，将来展望等についての質疑応答及び学力素養に関わる口頭による試問を行い，入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。

合 否 判 定 基 準 [一 般 入 試]

[前期日程]

学部名	合 否 判 定 基 準				
多文化社会学部	(1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上の者を第1段階選抜の合格者とする。 (2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験(本試験)平均点(中間集計その2)における英語の平均点(筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算)が、115点を下回る場合は、(1)の得点率(英語に限る。)を見直すことがある。 なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、平成28年1月25日頃に長崎大学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。 (3) TOEFL iBT61点以上、TOEFL PBT500点以上、TOEFL Junior Comprehensive341点以上、TOEIC730点以上、実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS5.5以上、GTEC for STUDENTS700点以上又はGTEC CBT1040点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱い第1段階選抜の合格者とする。 (4) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合格者を決定する。 (5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (6) 批判的・論理的思考力テスト(総合問題)において、評価が著しく低い者は選考の対象としないことがある。 (7) 面接において、評価が著しく低い者は選考の対象としないことがある。(オランダ特別コースのみ)				
教育学部	(1) いずれのコース、専攻も、大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点で合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。				
経済学部	(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点により順位づけする。 (2) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。ただし、配点A及びBにおいて、合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。				
医 学 部	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">医 学 科</td> <td> (1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接において、評価が著しく低い者は選考の対象としないことがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">保 健 学 科</td> <td> (1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の成績を優先し順位を決定する。 </td> </tr> </table>	医 学 科	(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接において、評価が著しく低い者は選考の対象としないことがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者	保 健 学 科	(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の成績を優先し順位を決定する。
医 学 科	(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接において、評価が著しく低い者は選考の対象としないことがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者				
保 健 学 科	(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、個別学力検査等の成績を優先し順位を決定する。				
歯 学 部	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等(数学・理科・外国語から1教科)の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①大学入試センター試験の数学の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の外国語の得点が上位の者				
薬学部	(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。				
工 学 部	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 (合格者のコース決定方法は、P21「②入学者選抜方法等 エ」の項を参照のこと。) (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の得点が上位の者 ②個別学力検査等の数学の得点が上位の者 ③大学入試センター試験の数学の得点が上位の者				
環境科学部	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。特定科目の成績重視は、行っていない。				
水産学部	(1) 大学入試センター試験を資格試験的に利用する。 (2) 個別学力検査等の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。 (大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。) (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。				

〔後期日程〕

学部名		合 否 判 定 基 準
多文化社会学部		<p>(1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が85%以上の者を第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算）が、115点を下回る場合は、(1)の得点率（英語に限る。）を見直すことがある。 なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、平成28年1月25日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表する。</p> <p>(3) TOEFL iBT61点以上、TOEFL PBT500点以上、TOEFL Junior Comprehensive341点以上、TOEIC730点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上、IELTS5.5以上、GTEC for STUDENTS700点以上又はGTEC CBT1040点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱い第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(4) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合格者を決定する。</p> <p>(5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(6) 小論文又は面接において、評価が著しく低い者は選考の対象としないことがある。</p>
教育学部		<p>(1) いずれのコース、専攻も、大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点で合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
経済学部		<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
医学部	保健学科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等（小論文及び面接）の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等（小論文）の成績にかかわらず選考の対象としないことがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①小論文の成績が上位の者 ②面接の成績が上位の者</p>
歯学部		<p>(1) 大学入試センター試験及び総合問題の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び総合問題の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①大学入試センター試験の数学の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の外国語の得点が上位の者</p>
薬学部		<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
工学部		<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点が50%以下の者は不合格とする。</p> <p>(2) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 （合格者のコース決定方法は、P21「②入学者選抜方法等 エ」の項を参照のこと。）</p> <p>(3) 総得点が同点の場合は、次の順序で順位を決定する。 ①総合問題の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の数学の得点が上位の者 ③大学入試センター試験の理科の得点が上位の者</p>
環境科学部		<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等（面接）の得点との総得点で決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
水産学部		<p>(1) 大学入試センター試験及び面接の成績の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>

合否判定基準〔推薦入試〕

学部名	合 否 判 定 基 準
教育学部	<p>(1) 各コース・専攻が指定する検査の総合計の得点率が60%以上の者について総得点で合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
経済学部	<p style="text-align: center;">推薦入試A</p> <p>(1) 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
経済学部	<p style="text-align: center;">推薦入試B</p> <p>(1) 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
医学部	<p style="text-align: center;">医学科</p> <p>(1) 【推薦入試A・B】</p> <p>① 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>② 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。</p> <p>まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。</p> <p>③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <p>【推薦入試C・D・E・F】</p> <p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは面接の評価が著しく低い場合は選考の対象としない。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>① 面接の得点が上位の者</p> <p>② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の得点が上位の者</p> <p>③ 大学入試センター試験の得点が上位の者</p>
医学部	<p style="text-align: center;">保健学科</p> <p>(1) 提出された書類等を参考にしつつ、小論文及び面接の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、小論文の成績を優先し、順位を決定する。</p>

学部名		合 否 判 定 基 準
環 境 科 学 部	推 薦 入 試 Ⅰ ①	(1) 大学入試センター試験の得点，調査書の評価及び面接の評価の合計点を高得点順に序列化し，合格者を決定する。 (2) 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が原則として60%未満の者は不合格とする。 (3) 面接の評価が50点以下の者は不合格とする。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
	推 薦 入 試 Ⅱ ②	(1) 大学入試センター試験の得点，調査書の評価，志望理由書の評価及び面接の評価の合計点を高得点順に序列化し，合格者を決定する。 (2) 大学入試センター試験，調査書，志望理由書及び面接の総合計の得点率が60%未満の者は不合格とする。 (3) 大学入試センター試験の最高得点科目の得点率が原則として60%未満の者は不合格とする。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
水 産 学 部	水 産 学 科	(1) 各面接員による評価を点数化し，合計する。 (2) 合計点を高得点順に並べ，高得点順に合格者とする。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。

合否判定基準〔社会人入試〕

学部名		合 否 判 定 基 準
経 済 学 部		① 小論文及び面接の総得点により順位づけし，高得点順に合格者を決定する。ただし，小論文，面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 ② 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
医 学 部	保 健 学 科	① 提出された書類等を参考にしつつ，小論文及び面接の成績の総得点で判定し，合格者を決定する。ただし，小論文，面接のいずれかの得点が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 ② 総得点が同点の場合は，小論文の成績を優先し順位を決定する。

合否判定基準〔外国人留学生入試〕

学部名	合 否 判 定 基 準
多文化社会学部	提出された書類（TOEFL 等の成績，日本留学試験の成績通知書等）及び面接の得点を総合して，合格者を決定する。
教育学部	(1) 小学校教育コース，幼稚園教育コース及び特別支援教育コースは，小論文及び面接の結果と，提出された資料（日本留学試験の成績通知書）を参考に，総合的に合格者を決定する。 (2) 中学校教育コースは，個別学力検査と日本留学試験の総合点で合否を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
経済学部	(1) 日本留学試験(100点)，小論文(40点)及び面接(60点)の総得点により順位づけし，高得点順に合格者を決定する。ただし，小論文，面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 (2) 面接においては TOEFL (iBT) 又は TOEIC の成績も評価する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
医学部 (医学科)	日本留学試験，個別学力検査（数学・理科・外国語）の得点及び面接の評価を総合して，合格者を決定する。
医学部 (保健学科)	日本留学試験，個別学力検査（外国語）及び面接の得点を総合して，合格者を決定する。
歯学部	日本留学試験，個別学力検査（数学・理科・外国語から 1 教科）の得点及び面接の評価を総合して，合格者を決定する。
薬学部	日本留学試験，個別学力検査（数学・理科・外国語）の得点及び面接の試験結果を総合的に評価して合格者を決定する。
工学部	(1) 日本留学試験（100点）及び面接（200点）の得点を合計し，総合計の得点率が 70%以上の者を対象に，総得点の高い順に志望コースごとの合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は，その同点者全員を合格とする。
環境科学部	(1) 日本留学試験及び小論文の総得点と面接で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は，その同点者全員を合格とする。 (3) 小論文の配点は 100 点とし，得点が 50 点未満の者は不合格とする。 (4) 面接の評価が著しく低い場合には，総得点にかかわらず不合格とすることがある。
水産学部	面接員による評点を合計し，高得点順に並べる。合計点が満点の 70%以上の者を対象にして，上位者から合格者とする。

9. 平成27年度長崎大学入学者選抜状況

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別			地域別			
										男	女	新卒	既卒	その他	県内	県外	九州・沖縄	
多文化 社会	前期日程 グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース オランダ特別コース	79(65)	75	72	67	1.1	13	0	54	17	37	48	6	0	11	43	45	
		9(5)	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後期日程 グローバル社会コース・社会動態コース・共生文化コース オランダ特別コース	88(70)	86	82	75	1.1	14	0	61	21	40	55	6	0	13	48	49	
		10	55	10	9	1.1	2	0	7	3	4	4	3	0	2	5	5	5
	二次募集	28	3	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2	3	1	3.0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A0	30	21	21	9	2.3	1	0	8	5	3	4	4	4	0	1	7	6
		15	1	1	1	1.0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1
	外国人留学生	5	1	1	1	1.0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
		20	2	2	2	1.0	0	0	2	2	0	2	2	0	0	1	1	1
合計	若干	2	2	1	1	1.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100	169	116	96	1.2	18	0	78	29	49	65	13	0	17	61	61		
教育	前期日程 小学校教育コース 国語専攻 社会専攻 数学専攻 理科専攻 音楽専攻 美術専攻 保健体育専攻 技術専攻 家庭専攻 英語専攻	55	95	91	55	1.7	1	0	54	25	29	49	5	0	37	17	53	
		5	11	11	6	1.8	1	0	5	5	1	4	5	0	3	2	4	4
	7	17	17	8	2.1	0	0	8	8	5	3	6	1	1	7	1	7	
	7	19	18	7	2.6	0	0	7	7	2	5	6	1	0	4	3	7	
	4	15	15	4	3.8	2	2	4	4	1	3	4	0	0	2	2	3	
	4	10	10	5	2.0	0	0	5	5	2	3	5	0	0	4	1	5	
	5	11	11	5	2.2	0	0	5	5	4	1	4	1	0	4	1	5	
	3	10	10	3	3.3	0	0	3	3	3	0	3	0	0	1	2	3	
	3	8	8	3	2.7	1	1	3	3	0	3	3	0	0	3	0	3	
	6	6	6	6	1.0	0	0	6	6	5	1	4	2	0	5	1	6	
後期日程 小学校教育コース 特別支援教育コース	15	41	40	15	2.7	0	0	15	15	14	15	0	0	6	9	15		
	7	46	44	7	6.3	1	1	6	6	0	6	6	0	0	3	3	6	
合計	126	298	290	129	2.2	8	4	125	52	73	114	10	1	82	43	121		
	15	116	43	15	2.9	3	2	14	5	9	12	2	0	5	9	11		
外国人留学生	3	38	21	4	5.3	0	4	2	4	2	2	3	1	0	2	2	3	
	18	154	64	19	3.4	3	2	18	7	11	15	3	0	7	11	14		
推薦	小学校教育コース 国語専攻 社会専攻 数学専攻 理科専攻 音楽専攻 美術専攻 保健体育専攻 技術専攻 家庭専攻 英語専攻	40	67	67	41	1.6	0	0	41	3	38	41	0	0	14	27	40	
		3	12	12	4	3.0	0	0	4	4	0	4	4	0	0	3	1	4
	3	6	6	3	2.0	0	0	3	3	2	1	3	0	0	1	2	2	
	2	11	11	2	5.5	0	0	2	2	0	2	2	0	0	2	2	2	
	3	8	8	3	2.7	0	0	3	3	2	1	3	0	0	2	1	3	
	1	4	4	1	4.0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	
	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	8	8	2	4.0	0	0	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	
	2	7	7	2	3.5	0	0	2	2	2	0	2	0	0	2	2	1	
	2	4	4	2	2.0	0	0	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	
合計	2	6	6	3	2.0	0	0	3	3	1	2	3	0	1	2	3		
	5	29	29	5	5.8	0	0	5	5	0	5	5	0	0	1	4	5	
外国人留学生	4	14	14	4	3.5	0	0	4	4	0	4	4	0	0	2	2	4	
	70	176	176	72	2.4	0	0	72	12	60	72	0	0	29	43	69		
A0	15	56	56	16	3.5	0	0	16	5	11	15	1	0	2	14	13		
	10	28	28	10	2.8	0	0	10	10	0	10	10	0	0	3	7	9	
合計	1	8	8	1	8.0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	
	26	92	92	27	3.4	0	0	27	5	22	26	1	0	5	22	22	22	
外国人留学生	若干	1	1	1	1.0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	
合計	240	721	623	248	2.5	11	6	243	76	167	227	14	2	123	120	226		

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別			地域別		
										男	女	新卒	既卒	その他	県内	県外	九州・沖縄
経済	前期日程	190	371	357	205	1.7	21	4	188	124	64	165	22	1	62	126	170
	後期日程	40	225	81	58	1.4	20	2	40	29	11	37	3	0	13	27	37
	推薦	20	28	28	20	1.4	0	0	20	5	15	20	0	0	5	15	19
	推薦A	10	22	22	11	2.0	0	0	11	5	6	11	0	0	3	8	11
	推薦B	30	50	50	31	1.6	0	0	31	10	21	31	0	0	8	23	30
	小計	40	63	63	49	1.3	10	1	40	25	15	37	3	0	14	26	33
	11月期	20	54	51	22	2.3	3	3	22	17	5	16	4	2	5	17	14
	3月期	60	117	114	71	1.6	13	4	62	42	20	53	7	2	19	43	47
	小計	5	41	41	6	6.8	0	0	6	6	1	6	0	0	1	5	6
	AO	12	7	7	6	1.2	1	0	5	2	3	0	0	5	0	5	0
	外国人留学生	325	816	650	377	1.7	55	10	332	208	124	292	32	8	103	229	290
	合計	76	386	344	77	4.5	1	1	77	63	14	9	68	0	14	63	59
	医学	医学科	108	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護学専攻		48	92	87	54	1.6	5	0	49	6	43	45	4	0	28	21	47
理学療法学専攻		10	24	24	12	2.0	0	0	12	11	1	8	4	0	3	9	10
作業療法学専攻		10	11	11	9	1.2	0	0	9	2	7	9	0	0	5	4	9
小計		144	621	466	152	3.1	6	1	147	82	65	71	76	0	50	97	125
看護学専攻		10	77	28	10	2.8	4	3	9	1	8	6	3	0	3	6	8
理学療法学専攻		5	31	9	5	1.8	2	1	4	4	0	3	1	0	0	4	3
作業療法学専攻		5	30	11	7	1.6	2	2	7	2	5	4	3	0	2	5	6
小計		20	138	48	22	2.2	8	6	20	7	13	13	7	0	5	15	17
推薦A		15	33	29	15	1.9	0	0	15	8	7	9	6	0	14	1	15
推薦B		6	12	12	6	2.0	0	0	6	5	1	3	3	0	6	0	6
推薦C(佐賀県枠)		2	4	4	2	2.0	0	0	2	2	1	2	0	0	0	2	2
推薦C(宮崎県枠)		2	11	11	2	5.5	0	0	2	2	0	0	2	0	0	2	2
推薦D	5	24	20	5	4.0	0	0	5	2	3	2	3	0	4	1	5	
推薦E	5	12	11	4	2.8	0	0	4	1	3	2	2	0	2	2	3	
推薦F	5	25	20	5	4.0	0	0	5	3	2	1	4	0	0	5	2	
看護学専攻	10	37	37	10	3.7	0	0	10	10	0	10	0	0	6	4	10	
理学療法学専攻	2	13	13	2	6.5	0	0	2	2	0	2	0	0	1	1	2	
作業療法学専攻	2	15	15	2	7.5	0	0	2	2	0	2	0	0	0	2	2	
小計	54	186	172	53	3.2	0	0	53	22	31	33	20	0	33	20	49	
看護学専攻	2	6	6	2	3.0	0	0	2	2	0	2	0	0	1	1	2	
理学療法学専攻	1	3	3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
作業療法学専攻	1	2	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	4	11	11	2	5.5	0	0	2	2	0	2	0	0	1	1	2	
外国人留学生	222	956	697	229	3.0	14	7	222	111	111	117	105	0	89	133	193	
合計	33	142	128	34	3.8	0	0	34	20	14	9	25	0	6	28	24	
前期日程	7	66	45	7	6.4	1	1	7	7	0	4	3	0	5	2	6	
後期日程	10	29	29	9	3.2	0	0	9	3	6	5	4	0	3	6	5	
AO	若干	4	4	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外国人留学生	50	241	204	50	4.1	1	1	50	30	20	18	32	0	14	36	35	
合計																	
歯学	前期日程																
	後期日程																

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別		地域別				
										男	女	新卒	既卒	県内	県外	九州・沖縄		
薬学	前期日程	薬学科	30	73	61	31	2.0	0	0	31	19	12	15	16	6	25	20	
		薬科学科	21	70	63	31	2.0	2	0	29	16	13	9	20	5	24	21	
	後期日程	薬学科	51	143	124	62	2.0	2	0	60	35	25	24	36	11	49	41	
		薬科学科	10	142	66	10	6.6	3	2	9	4	5	3	6	0	1	8	
	小計	薬学	15	106	39	19	2.1	6	0	13	10	3	5	8	0	2	11	6
		薬科学科	25	248	105	29	3.6	9	2	22	14	8	8	14	0	3	19	11
	AO	AO	4	4	4	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		外国人留学生	若干	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		80	395	233	91	2.6	11	2	82	49	33	32	50	14	68	52	
	工学	前期日程	工学科	265	461	442	301	1.5	16	0	285	251	34	220	65	81	204	269
後期日程			50	265	106	63	1.7	23	4	44	38	6	29	15	14	30	39	
A		電気電子工学コース	5	15	15	5	3.0	0	0	0	5	0	5	0	0	5	5	
		情報工学コース	1	1	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
B		構造工学コース	3	21	21	3	7.0	0	0	3	2	1	3	0	0	3	3	
		社会環境デザイン工学コース	10	17	17	10	1.7	0	0	10	9	1	9	1	0	2	8	
AO I		化学・物質工学コース	4	5	5	2	2.5	0	0	2	2	0	2	0	0	2	1	
		機械工学コース	6	11	11	6	1.8	0	0	6	6	0	6	0	0	3	3	
AO II		電気電子工学コース	5	12	12	5	2.4	0	0	5	5	0	5	0	0	1	4	
		情報工学コース	3	8	8	2	4.0	0	0	2	2	0	2	0	0	1	2	
小計	工学	2	3	3	2	1.5	0	0	2	2	0	2	0	0	1	1		
	社会環境デザイン工学コース	3	5	5	3	1.7	0	0	3	3	0	3	0	0	1	2		
工学科	化学・物質工学コース	2	3	3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	機械工学コース	5	17	17	4	4.3	0	0	4	4	0	4	0	0	3	1		
小計	工学	2	4	4	1	4.0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0		
	電気電子工学コース	4	10	10	2	5.0	0	0	2	2	0	2	0	0	1	1		
工学科	情報工学コース	5	12	12	2	6.0	0	0	2	2	0	2	1	0	2	0		
	社会環境デザイン工学コース	2	2	2	1	2.0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1		
小計	工学	3	5	5	3	1.7	0	0	3	3	1	2	2	1	3	0		
	化学・物質工学コース	65	151	151	51	3.0	0	0	51	47	4	47	4	0	19	32		
工学科	機械工学コース	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	電気電子工学コース	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	工学	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	情報工学コース	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
工学科	構造工学コース	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	社会環境デザイン工学コース	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	工学	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	化学・物質工学コース	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
外国人留学生	工学	若干	11	9	1	9.0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
	電気電子工学コース	若干	9	8	4	2.0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0		
小計	工学	若干	5	4	1.3	1	0	3	0	3	0	0	0	3	0	0		
	情報工学コース	若干	5	5	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	工学	10	9	5	1.8	4	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0		
	社会環境デザイン工学コース	若干	4	4	2	2.0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1		
小計	工学	44	44	40	16	2.5	9	0	7	4	3	0	0	7	0	0		
	化学・物質工学コース	380	921	739	431	1.7	48	4	387	340	47	296	84	114	273	355		

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別		地域別			
										男	女	新卒	既卒	県内	県外		
環境 科 学	前期日程	40	90	82	47	1.7	5	0	42	18	24	36	6	9	33	36	
	選抜方法A(文系受験)																
	選抜方法B(理系受験)	40	143	137	51	2.7	8	0	43	30	13	34	8	1	9	34	
	小計	80	233	219	98	2.2	13	0	85	48	37	70	14	1	18	67	70
	後期日程	13	61	25	20	1.3	2	0	18	12	6	12	5	1	7	11	14
	選抜方法A(文系受験)	13	63	31	20	1.6	1	0	19	12	7	16	3	0	6	13	16
	選抜方法B(理系受験)	26	124	56	40	1.4	3	0	37	24	13	28	8	1	13	24	30
	小計	6	20	15	6	2.5	0	0	6	2	4	6	0	0	2	4	5
	推薦	6	14	10	2	5.0	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	2
	推薦②	4	4	4	4	1.0	0	0	4	3	1	4	0	0	0	4	4
小計	16	38	29	12	2.4	0	0	12	7	5	12	0	0	4	8	11	
外国人留学生	8	6	5	3	1.7	0	0	3	2	1	0	0	0	0	3	0	
合計	130	401	309	153	2.0	16	0	137	81	56	110	22	5	35	102	111	
水産	前期日程	45	382	372	52	7.2	5	0	47	40	7	34	13	0	13	34	24
	水産学科																
	後期日程	13	13	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	推薦	45	151	66	51	1.3	4	0	47	35	12	37	10	0	6	41	17
	AO	15	67	67	15	4.5	0	0	15	8	7	15	0	0	3	12	8
	小計	5	7	7	5	1.4	0	0	5	3	2	5	0	0	1	4	2
	婦女子女	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人留学生	若干	4	3	1	3.0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0
	合計	110	624	515	124	4.2	9	0	115	87	28	91	23	1	23	92	51
	前期日程	1,004	2,750	2,480	1,108	2.2	85	9	1,032	673	359	762	267	3	336	696	883
後期日程	241	1,429	581	288	1.9	73	17	242	164	78	175	66	1	68	174	176	
二次募集	30	21	21	9	2.3	1	0	8	5	3	4	4	0	1	7	6	
推薦	185	517	494	183	2.7	0	0	183	59	124	163	20	0	77	106	167	
社会人	64	128	125	73	1.7	13	4	64	42	22	53	9	2	20	44	49	
AO	135	326	326	100	3.3	0	0	100	59	41	91	9	0	30	70	83	
婦女子女	若干	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外国人留学生	8	73	59	28	2.1	11	0	17	9	8	0	0	0	17	0	0	
合計	1,637	5,244	4,086	1,799	2.3	183	30	1,646	1,011	635	1,248	375	23	532	1,114	1,374	

注1) 多文化社会学部(前期日程・後期日程)、医学部医学科(前期日程)および水産学部(前期日程)の志願者数は、第1段階選抜の合格者を上欄に、不合格者数を下欄に表示した。

2) 志願者には、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による受験資格無資格者であることが判明したものは含まない。

3) 多文化社会学部において、平成27年度AO入試Iによる入学手続者数が募集人員に満たなかったため、その不足した人員を一般入試の前期日程の募集人員に加えた。()の数は、変更前の募集人員。

4) 募集人員の合計の数に、二次募集人員の数は含まれていない。

平成27年度特別入試入学者選抜状況

1. アドミッション・オフィス入試（AO入試）

(1) AO入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）

学 部	学科等	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	グローバル社会コース 社会動態コース 共生文化コース	15	1	1	1	1	1
	オランダ特別コース	5	1	1	1	1	1
	計	20	2	2	2	2	2
教育学部	小学校教育コース	15	56	37	37	16	16
	幼稚園教育コース	10	28	22	22	10	10
	特別支援教育コース	1	8	3	3	1	1
	計	26	92	62	62	27	27
経済学部	総合経済学科	5	41	10	10	6	6
工学部	機械工学コースA	-	-	-	-	-	-
	機械工学コースB	6	11	11	11	6	6
	電気電子工学コースA	5	15	15	15	5	5
	電気電子工学コースB	5	12	12	12	5	5
	情報工学コースA	1	1	1	1	0	0
	情報工学コースB	3	8	8	8	2	2
	構造工学コースA	3	21	12	12	3	3
	構造工学コースB	2	3	3	3	2	2
	社会環境デザイン工学コースA	10	17	17	17	10	10
	社会環境デザイン工学コースB	3	5	5	5	3	3
	化学・物質工学コースA	4	5	5	5	2	2
	化学・物質工学コースB	2	3	3	3	0	0
	計	44	101	92	92	38	38
水産学部	水産学科	5	7	7	7	5	5
合 計		100	243	173	173	78	78

(2) AO入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

学 部	学科等	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者	受験者数	合格者数	入学者数
歯学部	歯学科	10	29	29	17	9	9
薬学部	薬科学科	4	4	4	0	0	0
工学部	機械工学コース	5	17	17	6	4	4
	電気電子工学コース	2	4	4	1	1	1
	情報工学コース	4	10	10	3	2	2
	構造工学コース	5	12	12	6	2	2
	社会環境デザイン工学コース	2	2	2	2	1	1
	化学・物質工学コース	3	5	5	3	3	3
	計	21	50	50	21	13	13
合 計		35	83	83	38	22	22
総 計		135	326	256	211	100	100

2. 推薦入試

(1) 推薦入試Ⅰ(大学入試センター試験を課さない)

学 部 ・ 学 科 等			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	40	67	67	41	41	
		中学校教育コース	国語専攻	3	12	12	4	4
			社会専攻	3	6	6	3	3
			数学専攻	2	11	11	2	2
			理科専攻	3	8	8	3	3
			音楽専攻	1	4	4	1	1
			美術専攻	1	0	0	0	0
			保健体育専攻	2	8	8	2	2
			技術専攻	2	7	7	2	2
			家庭専攻	2	4	4	2	2
			英語専攻	2	6	6	3	3
		(小計)	21	66	66	22	22	
		幼稚園教育コース	5	29	29	5	5	
特別支援教育コース	4	14	14	4	4			
計			70	176	176	72	72	
経済学部	総合経済学科(昼間コース)	推薦入試A	20	28	28	20	20	
		推薦入試B	10	22	22	11	11	
	計		30	50	50	31	31	
医学部	保健学科	看護学専攻	10	37	37	10	10	
		理学療法学専攻	2	13	13	2	2	
		作業療法学専攻	2	15	15	2	2	
	計		14	65	65	14	14	
水産学部	水産学科		15	67	67	15	15	
合 計			129	358	358	132	132	

(2) 推薦入試Ⅱ(大学入試センター試験を課す)

学 部 ・ 学 科 等			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医学部	医 学 科	推薦入試A	15	33	29	15	15
		推薦入試B	6	12	12	6	6
		推薦入試C(佐賀)	2	4	4	2	2
		推薦入試C(宮崎)	2	11	11	2	2
		推薦入試D	5	24	20	5	5
		推薦入試E	5	12	11	4	4
		推薦入試F	5	25	20	5	5
計			40	121	107	39	39
環境科学部	環境科学科	推薦入試①A(文系)	6	20	15	6	6
		推薦入試①B(理系)	6	14	10	2	2
		推薦入試②	4	4	4	4	4
	計		16	38	29	12	12
合 計			56	159	136	51	51

注)医学部医学科推薦入試Bの合格者のうち1名は推薦入試Aを第1志望,推薦入試Bを第2志望として併願していた者です。

総 計	185	517	494	183	183
-----	-----	-----	-----	-----	-----

3. 帰国子女入試

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	グローバル他	若干人	0	0	0	0
	オランダ特別コース	若干人	0	0	0	0
	小 計		0	0	0	0
工学部	機械工学コース	若干人	0	0	0	0
	電気電子工学コース	若干人	0	0	0	0
	情報工学コース	若干人	0	0	0	0
	構造工学コース	若干人	0	0	0	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	0	0	0	0
	化学物質工学コース	若干人	0	0	0	0
	小 計		0	0	0	0
水産学部	水産学科	若干人	0	0	0	0
合 計			0	0	0	0

4. 社会人入試（11月期募集）

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
経済学部	(夜間主コース)	40	63	63	50	40	
医学部	保健学科	看護学専攻	2	6	6	2	2
		理学療法学専攻	1	3	3	0	0
		作業療法学専攻	1	2	2	0	0
		小 計	4	11	11	2	2
合 計		44	74	74	52	42	

社会人入試（3月期募集）

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済学部	(夜間主コース)	20	54	51	25	22

5. 外国人留学生入試

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	多文化社会学科	若干人	2	1	1	0
教育学部	学校教育教員養成課程	若干人	1	1	1	1
経済学部	総合経済学科	若干人	12	7	6	5
医学部	医学科	若干人	0	0	0	0
	保健学科	若干人	0	0	0	0
	小 計		0	0	0	0
歯学部	歯学科	若干人	4	2	0	0
薬学部	薬学科	若干人	0	0	0	0
	薬科学科	若干人	0	0	0	0
	小 計		0	0	0	0
工学部	機械工学コース	若干人	11	9	1	1
	電気電子工学コース	若干人	9	8	4	1
	情報工学コース	若干人	5	5	4	3
	構造工学コース	若干人	5	5	0	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	10	9	5	1
	化学物質工学コース	若干人	4	4	2	1
	小 計		44	40	16	7
環境科学部	環境科学科	8	6	5	3	3
水産学部	水産学科	若干人	4	3	1	1
合 計			73	59	28	17

10. 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定により本学の入学者選抜試験に出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとします。

(1) 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 中学校卒業で、各種の学校等での学習歴、社会での実務経験等に基づいて高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 申請期日及び申請先等

長崎大学の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、選抜試験別にそれぞれ次の期日までに申請してください。

- ① A O 入 試・・・平成 27 年 7 月 31 日（金）
- ② 社会人入試・・・平成 27 年 9 月 18 日（金）※3月期は、平成 28 年 1 月 8 日（金）
- ③ 一般入 試・・・平成 27 年 12 月 18 日（金）

ただし、大学入試センター試験の出願に必要な場合は、①の期日までに申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「長崎大学入学資格認定申請書」と朱書きしてください。（持参でも可）

なお、不明な点がありましたら、下記にお問い合わせ願います。

※申請先：〒852-8521 長崎市文教町 1-14

長崎大学学生支援部入試課（TEL 095-819-2111）

(3) 申請書類

- ① 前記（1）①に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書（様式第 1）
 - イ. 学習等の履歴書（様式第 2）
 - ウ. 当該学校の教育が 12 年の課程であることを証明できるもの
 - エ. 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - オ. 卒業証明書又は卒業見込証明書（生年月日を記載したもの）
 - カ. 返信用封筒（長形 3 号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、392 円分の郵便切手を貼ったもの）
- ② 前記（1）②に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書（様式第 1）
 - イ. 学習等の履歴書（様式第 2）
 - ウ. 各種の学校等での学習歴を証明できるもの
 - エ. 社会経験等の履歴（様式第 3）
 - オ. 今までに取得した資格等を証明できるもの
 - カ. 18 歳に達した者であることを証明できるもの（健康保険証、運転免許証、パスポート等の写し）
 - キ. 返信用封筒（長形 3 号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、392 円分の郵便切手を貼ったもの）

申請書類のうち、本学所定の様式（様式第 1～第 3）については、長崎大学ホームページからダウンロードするか、郵送により請求してください。

また、他大学において個別の入学資格審査による認定を受けた者は、その認定を受け

たことを証明する書類の写しを添付してください。

※申請書類（本学所定の様式（様式第1～第3））の入手方法

（ホームページによる方法）

次の長崎大学ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/28shinsa.pdf>

（郵送による方法）

前記（2）の申請先へ返信用封筒（定形）に宛先を明記し、返信用の切手（92円分）を貼り、封筒の表に入学資格認定申請書請求と朱書きで明記して請求してください。

（4）入学資格審査基準

入学資格審査は、提出された申請書類によって行います。

① 前記（1）①の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が「高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数」と同等以上であること。

② 前記（1）②の申請者

申請者の学習歴、社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

（5）審査機関

入学資格審査は、長崎大学入学者選抜委員会で行います。

（6）入学資格審査結果の通知

入学資格審査の結果は、それぞれ次の期日までに申請者宛に発送します。

① A O 入 試・・・平成27年 8月28日（金）

② 社会人入試・・・平成27年10月16日（金）※3月期は、平成28年2月5日（金）

③ 一般入 試・・・平成28年 1月22日（金）

なお、大学入試センター試験の出願に必要な場合は、①の期日までに発送します。

入学資格が認められた者には、「長崎大学入学資格認定書」を交付します。

また、入学資格が認められなかった者には、理由を付して審査結果を通知します。

（7）長崎大学入学者選抜試験への出願

「長崎大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願する際は、必ず「長崎大学入学資格認定書(写)」を添付してください。

なお、交付された本学の入学資格認定書は次年度以降も有効です。

（8）その他

入学資格が認められた後であっても、申請書類の内容に事実と異なる点があった場合には、入学資格を取り消します。

11. 平成29年度長崎大学入学者選抜の変更点について（予告）

- (1) 多文化社会学部において、AO入試Iにスーパーグローバルハイスクール・国際バカロレア枠を追加する。
- (2) 教育学部において、外国人留学生入試の学力検査等を次のとおり変更する。
 - ① 小学校教育コース、幼稚園教育コース及び特別支援教育コースの試験科目について、「小論文、面接」のみに変更する。また、出願要件を次のとおり変更する。（下線箇所が変更点）
 - (i) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者（平成29年3月修了見込みの者を含む。）で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
 - (ii) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの。
 - (iii) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアドヴァ資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの。
 - (iv) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの。
 上記の要件を満たし、かつ、TOEIC400点以上、TOEFL(iBT)41点以上、TOEFL(PBT)440点以上のいずれかのスコアを有すること。（ただし、過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）
 - ② 中学校教育コース(社会専攻)の試験科目について、「小論文」を「国語、外国語(英語)；面接」に変更する。
- (3) 経済学部において、AO入試及び推薦入試を次のとおり変更する。
 - ① AO入試を、AO入試(実践力)とAO入試(グローバル)に分ける。（いずれもAO入試I）募集人員は、AO入試(実践力) 5人、AO入試(グローバル) 10人とする。AO入試(グローバル)は、外国語検定試験を活用する。
 - ② 推薦入試B(普通科等)の募集を停止する。なお、その分の募集人員をAO入試(グローバル)に移行する。（推薦入試A(商業系等)に変更はしない。名称を推薦入試Aから推薦入試に改める。）
- (4) 医学部保健学科において、一般入試を次のとおり変更する。
 - ① 前期日程の個別学力検査等に「面接」を追加する。
 - ② 後期日程の個別学力検査等の「小論文」において、一部に英語の読解力を含む問題を出题する。
 - ③ 大学入試センター試験の配点を、次のとおり変更する。（下線部分が変更点）

医学部	保健学科 看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	平成29年度											平成28年度										
		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等					大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接	配点合計	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接
前期	センター試験	100	*50	100	100	100	100					450	200	*100	200	100	200						800
	個別学力検査等						200				100	300						200					200
	計	100	*50	100	100	100	300				100	750	200	*100	200	100	400						1000
後期	センター試験	100	*50	100	100	100	100				450	200	*100	200	100	200							800
	個別学力検査等										100	400								300		100	400
	計	100	*50	100	100	100	100				100	850	200	*100	200	100	200			300	100	100	1200

* 地歴・公民は、世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目を選択。（2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。）

入試に関する問い合わせ先

長崎大学学生支援部入試課

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

☎ 095-819-2111

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyu-main.html>